



四書國字辨 孟子

一

□ 12
2319
6



口仁8
23/9

四書國字辯孟子卷之一

子思子

孟子ハ姓ニテ子ハ男子ノ通稱ナリコノ書ヲ孟子ト名ツクルハ老子

史記列傳曰

諸侯ヲ世家ニシテ人臣ヲ列傳ニスソノ人ノ事跡ヲツラ子

也

子孫氏カ末ナリ周ノ末戰國ノ時ノ人ナリ親類受業子思之門

人

孔子ノ孫名ハ伋字ハ子思ト道既通游事齊宣王

王不果所言

惠王モ孟子ノイフ如ク尤トハ則見以爲迂遠而闕於事

情

コノ時分ハイクサ宙中ノコナルユヘ先王ノ法ヲトクヲ見テ遠達ニテ

時秦用

商鞅楚魏用吳起齊用孫子田忌

テ楚ノ悼王ニ仕フ孫臏田忌ハ齊ノ威王ニツカフコノ人々

テ楚ノ悼王ニ仕フ孫臏田忌ハ齊ノ威王ニツカフコノ人々

テ楚ノ悼王ニ仕フ孫臏田忌ハ齊ノ威王ニツカフコノ人々

テ楚ノ悼王ニ仕フ孫臏田忌ハ齊ノ威王ニツカフコノ人々



天下方務於合從連衡以攻伐為賢從ハ縦字ニカリテタテトヨム衡ハ横ト

ワカレテ權威ヲフルヒ天下ヲウバヒ天子ニナラントス時秦ハツヨク六国ハヨハシ楚燕齊韓

魏趙ノ六国ハミナ山東ニアリテ南北ニテラフニ從ト云夫ハ大国ニノ關西ニアリソノ地東西長

キユニ横ト云地ノ南北ヲタテト東西ヲヨコトスレバナリソノコロ蘇秦張儀ト云モノ辨舌

ヲ以テ天下ヲメクリ蘇秦ハ六国ヲイヒ合セテ秦ヲホロボサトス是ヲ合從ト云タテラ合スルナリ

張儀ハ秦ニアリテ六国ノ中ヲアレクメ秦ノ味方トセトス是ヲ連衡ト云ヨコヲツラヌルナリ此

ノ時分ハイクサ最中ニテ先王ノ道ナドハハリトヲ思ヒガタリテ切タリ突タリスルヲ賢ナリト

思リ而孟軻乃述唐虞三代之德是以所知者不合唐虞ハ堯舜三代ハ夏殷周

ノトクニヨリ齊梁バカリニテナク退而與萬章之徒序詩書述仲尼之意ナリ孟子ハ古聖人ノ道ヲ

作孟子七篇時ノ人孟子ノトク処ヲ用ズ道ノ行ハルニシキヲ知リ退テ門人ノ萬章

ケラル孟子ハ六經ニ通シタル大賢ナレバコノ書ニ多ク詩書ヲヒクニヨリ詩書ノ二經ヲア

ゲタリト然レバコノ二經ヲアグレハ余ノ四經ハソノ中ニモルナリ孔子ノ意ニヨリテ七篇ノ書ヲ

ツクリ後世ニツタヘ韓子曰名ハ愈字ハ退之ト云文人ナリ堯以是傳之舜舜以

是傳之禹禹以是傳之湯湯以是傳之文武周公文武周公傳之孔子孔

子傳之孟軻軻之死不得其傳焉以是トハ道ヲサシテ云古ヨリ聖人出テ次第ニ

ク以荀與楊也擇焉而不精語焉而不詳荀ハ荀况戰國ノ時ノ人ナリ書

揚雄字子雲易ニナヅテ太玄經ヲアラハレ論語ニ比レテ法言ト云書曰アラフ

ハス擇ニテ精シカラストハ義理ヲエリキハムルコトイニタ精微ナラズコノ二道ヲカタル処

ノ議論モソニヒラカナルガリ老莊ヨリ荀揚ニ至ルニテノ諸子ノ言々々道ヲト

ケル韓退之ヒトリ堯舜ヨリ孔子ニ至リ孔子及ブツタハラザル処ノモノヲ以テ道ノ

正真トスルハ先儒ノ説ニモアラス又議論ヲ以テ又曰孟氏醇乎醇者也醇ハ純字

モラヒ出シタルニモアラス道ヲミルトノ分明ナリ知ルシ

三シリノナイト醇乎トハ下ノ醇字ヲ形容シタルモノナリ荀與楊大醇而小疵

荀子揚子モ三シリナレノ聖人ノ道デアレバレスコレキズガアルトナリ程子ノ説ニ荀子

ガ性亞ト云モ揚子が善惡混スト云ハ偏駁ナリ孟子ノ性善ト云フヲ以テミレバソノ及バザル

ト遠又曰孔子之道大而能博門弟子不能徧觀而盡識也夫子ノ道ノ

天地ノアイダニ萬物アルガ如クナレハ門弟子ノ七十子ノ輩モ

詩書六藝ハ云ニ及バズ隨ハカセイヲ出ノミテモコトク知ルコトラス故學焉而皆得

其性之所近キイヅレモ聖人ヲ師トノミナレバ全備ノ徳ヲナスコトナラズ徳行ニ至ルモアリ

得タル処ハ一徳ナリ孔子ノ没後ニ子夏ハ魏

ユキ子路ハ衛ニ冉有子游ハ魯ニ仕フル如ク又各以其所能授弟子源遠而

四方ニナレテ諸侯ノ國々ニワカレテ

其後離散分處諸侯之國孔子ノ没後ニ子夏ハ魏

ニテリヤ我子貢ハ魯ニ

得タル処ハ一徳ナリ

其後離散分處諸侯之國

孔子ノ没後ニ子夏ハ魏

ニテリヤ我子貢ハ魯ニ

得タル処ハ一徳ナリ

其後離散分處諸侯之國

孔子ノ没後ニ子夏ハ魏

ニテリヤ我子貢ハ魯ニ

末益分

オノク一ナヒエタル処ヲ弟子ニオシヘサツクソノ源ハ大聖孔子ヨリ出タル

李斯ニツタヘテツイニハ天下ノ書ヲヤキタリ又子夏ハ弟子方ニ惟孟軻師子思而

子思之學出於曾子自孔子没獨孟軻氏之傳得其宗

至フ子思ノ學問ハ孔子ノ道ヲツキ得タル処ノ曾子ニウケラレタリ孔子故求觀聖

人之道者必自孟子始

古者楊墨塞路孟子辭而闕之廓如也

親疎ノ一タテナク急愛スルト云ノオシヘラ立テ世ヲニドハタルモノハナリコレ皆聖人ノ道ヲ

如クナルヲ孟子緘ヲ以テセメヒライテ夫楊墨行正道廢

ク世ニ行ハレテ聖人ノ正道スタレタリ孟子雖賢聖不得位空言無施雖切何補

時ニ合ズメ用ユル人ナケレバ位ヲ得ズ政道ニアツカラザレハソノ詞ハ空言ノ

言而今之學者尚知宗孔氏崇仁義貴王賤霸而已

ナラ子然レレ人テ唐ノ代ノ學者ガ二帝三王ノ仁義ニ本ツク処ノオシヘラツツトヒ

其大經大法比皆亡滅而不救壞爛而不收

ホロビキエテスクヒトラレズワツカニ残リ所謂存十一於千百安在其能廓如

也今ニ至テ學者ノレル処ハ百分ノ一ニナラ存レトメタル然向無孟氏則比皆服

左袒而言侏離矣

ラレヌヤウニナルベキヲ孟子ノ功ニヨリテ免レタリト楊氏ガ我ガタメニスルハ君ヲ君トスル

ナヒタルヨ故愈當推尊孟氏以為功不在禹下者為此也

楊墨聖ヲヒラカレタル手ガラハ大禹ノレタニハ或問於程子曰孟子還可謂聖人

否

朱子ノ說ニ至処ノ至字ヲ聖字ニ作シト他トハカレト云フ孟子ノ程子又曰孟子

有功於聖門不可勝言

仲尼只說一箇仁字

孟子

孟子

孟子開口便說仁義 一箇ハヒトツト云「仁ヲ云ハハ義ハコモル」ナリ孔子ノ

孔子トキ玉ヲ知ル仁ヲ知ル孔子ト云ヒラケバ仁義ヲツラ子ト

孟子ハ丁寧ニ初學ノタメニ示シ玉フ 仲尼只說一箇志 孟子便說許多養

氣出來只此二字其功甚多 養氣ハ浩然ノ氣ヲ養フヲ云志ハ心ノユキムカフ

去リナカラ氣モ心ヲツケテ養ヒミツルナケレバ志タチガタキニヨリ 孟子養氣ノ

夫ヲ詳ニトキ出セリ 許多ハオホクト 又曰子孟子有大功於世以其言性善也

性ハ天ヨリウケ得タル処ノ一理ニテモトヨリ善ナリ氣質ヲ以テ云ハハ智愚賢不

肖ノ不同アレ本然ノ理ハ聖人衆人ノカリナクニ善ナリ揚墨ヲセキ又性ニ善不

善アリ或ハ性惡ナド云フ 理氣ノワカラサルヲ論レ 又曰子孟子性善養氣之

論皆前聖所未發 性善養氣ノ論ハ孟子ヨリ以前ノ聖人タチモ發明セラレ

又曰學者全要識時若不識時不足以言學 學者ハヒタスラニ萬事

時宜ヲレラサルモノハソノ學ニル 顏子陋巷自樂以有孔子在焉 顏子ノ大

安可不以道自任 任ハ荷ナリコトハ聖人ノ道ヲニテ云子孟子ノ時分是道

世ヲスクハシタメニ道ヲ荷トシ齊梁諸國ヲ 又曰孟子有此英氣 此ハ

角英氣甚害事 圭ハ玉公ノモツサキノトカリタル玉ナリソレニナゾラヘテ圭角ト云

賢者ノ徳ノ全備セテヲセムル詞ナリ 如顏子便渾厚不同顏子去聖

人只毫髮間孟子大賢亞聖之次也 顏子ハ渾厚トテカトダズニロラカニ

ナリソノワケハ顏子ハ聖人ニモスレホドノチカイアバナリソレユヘ 或曰英氣見於

甚處 氣ノアラルル処ヲト 曰但以孔子之言比之便可見 孔子ノ言ヲ以

且如冰與水精非不光 氷ト水精ト玉ニクラブレバイツレモ光リハアレモ氷ハ温潤ヲ

氣象無許多光耀也 子孟子ノ詞ヲ聖言ニクラベテ英氣ノニユルタトハヲトヒテ

ムツクリトウルホヒ合蓋テソノ光リヲ内ニテウハニハ
キラメカズ外ヘアラハレ又カ聖人ノ詞ニ英氣ヲ多クナリ揚氏曰孟子一書只

是要正人心揚氏名ハ時字ハ中立程子ノ高弟ナリ心ハ身ノ主宰教人

存心養性收其放心存心トハ心ヲ外ヘヤラヌコトヨリウケ得タル処ノ本
性ヲ正シクヤシナヒトケサセトリハナレニナリ心ヲトリ

オサムルコトヲ教フルヨリ外ナレ孟至論ニ我禮智則以惻隱羞惡辭

讓是非之心爲之端孟子ノオレノ丁寧ナルコトヲ云テ仁義礼智ハ天ヨリ

ケレ私意ニクテラニサルユ賢不肖ノチカヒアルナリ人々ニツナハリアル證據ニ惻隱

上テイタミアル心アルハ仁ハ羞惡ハ義ハ辞讓ノ心ハ礼ハ是非ハ

ウツクシイモノトキタナヒモノヲ見ワタルハ智ハ人々ニコノ四端アレバコレヲオレヒロムレ

バ仁義礼智ヲ全ク得ルナリ性ハ相違シ君ヲ相遠シト孔子モノ玉ヘリ子孟子ハネニコ

ロニ示サ論邪說之害則曰生於其心害於其政邪曲ノ說スコレ入理ニタガフト

レタリ事ノトリ行ヒニ害アリ論事君則曰格君心之非一正君而國定人君ノ

大ナルハ國家ヲアヤニ至ル人ヲ用アル処ノ非ハ枝葉ニテ云ニタラス君心ノ非ヲタハス千變萬化只說從

心上來孟子ノ書目ハレメヨリ終リテソノオレハ千萬ニ變化人能正心則事無足

爲者矣人トノ心サヘ正シクスレバ何コトモ大學之脩身齊家治國平天

下其本只是正心誠意而已大學ニ脩身齊家治國平天下ト段々ニ次第

スルガ本ナリ心ハ形チキモノニテ物ヲラレテ外ニテスルヲ意ト云ソノ発スルニ善惡アリテ

物ヲラレテ一念ノキサスラ善カ惡カト分別ノ惡ヲスルハ誠意ナリ意ヲ誠ニスレハ心ハオノツカラ

正シク心得其正然後知性之善ヨリ心ヲ正フスル工夫ノ心正フナリテ實ニ性ノ

正シキコトヲラレト心得故孟子遇人便道性善ヨリテ孟子人ニアフゴトニ性ハ善

ベレト朱子ノ說ナリ歐陽永叔却言聖人之教人

本然ニカヘラセラル、性ハ惡トイヒ性ニ善不善歐陽ハ姓ニテ名ハ脩字ハ永叔ト云ソノ說ニ性ハ學者ノ先

アリト云ハ我ガ不善ハ性質ナリト云テ改メハ自暴ナリ性非所先可謂誤矣スル処ニアラズ聖人モ寧ニ玉フ処ト云ハ大ナルアヤマリトナリ

人性上不可添一物人々天ヨリウケ得テ本心ニツナフル処ノ一理ヲ本然ノ性ト云

一物モソヘ堯舜所以爲萬世法亦是率性而已堯舜ノ萬世ノ後ニ至ル

性ニレタカフ所謂率性循天理是也天ヨリ人ニ命スルヲ性ト云性ハヤリ理ナリ

ノミナリト外邊用計用數假饒立得功レコキガ如クソレノスジニチノワカレテアルハ

理ナリ天理ニレタカフモ本一ナリ

孟子

業只是人欲之私與聖賢作處天地懸隔外邊トハ天理ニシムキタル私欲ノハタラキラスベテ云計ハハカリコト

數ハ術ナリ天理ニシムキ人欲ニカセテ謀計ヲメケラシ術ヲ以テソクハクノ手カラ

ヲアラスト云凡ニ私欲ヨリ出タルニテ聖賢ノ事ヲナス処トハルカニヘカリタル地ノ如ク

入封ト云不取一畝入封ト云不取一畝

封非世世下國也封非世世下國也

本意ニハハカリタル本意ニハハカリタル

孟子ノ意ハハカリタル孟子ノ意ハハカリタル

孟子ノ意ハハカリタル孟子ノ意ハハカリタル

孟子ノ意ハハカリタル孟子ノ意ハハカリタル

孟子ノ意ハハカリタル孟子ノ意ハハカリタル

孟子ノ意ハハカリタル孟子ノ意ハハカリタル

孟子卷之一

梁惠王章句上

ハレノニ梁惠王トアルヲ一篇ノ題号ニシタルモノナリ

孟子見梁惠王孟子見梁惠王

孟子ハコノ方ヨリユキテ諸侯ナレトテ瞭ラカメテ見フ心

里而來亦將有以利吾國乎里而來亦將有以利吾國乎

孟子對曰王何必曰利亦有仁

義而已矣義而已矣

利吾家士庶人曰何以利吾身上下交征利而國危矣利吾家士庶人曰何以利吾身上下交征利而國危矣

孟子曰王何必曰利亦有仁義而已矣
王曰何以利吾國大夫曰何以利吾家士庶人曰何以利吾身上下交征利而國危矣

トシ臣ハ君ニカスメリトリ交タカヒニ
トリアヒテツイニハ乱ニ及バントナリ
萬乗之國殺其君者必千乘之家千乘

之國弒其君者必百乘之家
天子ヲ萬乗トイヒ諸侯ヲ千乗ト云百乗ハ大夫ノ
家領ナリ乗ト云ハ八乗ハ四ナリ軍役ニ出ス処ノ車

一兩ノ馬四匹ニカクル是ヲ一乗ト云天子ノ兵車ハ一萬乘ナリ天子ノ公卿ハ爵位ニ據リ諸
侯ト同フノ王國ノ十分一ニユ千乗ヲ出ス大夫モコノワリニテ百乗ナリ下トノ上ヲコロスヲ弒ト云

君トノ不仁不義ニノ利ヲムサボレバ下モニタラレシト
万取千焉千取百焉不為不
多矣苟為後義而先利不奪不履

法ニメ事タルベキヲタカラズトセズナラスクナレト思ヒ義ヲユルカセニノ利欲ヲ先
ニスルハ大夫ハ諸侯ヲ弒シ諸侯ハ天子ヲ弒シムバヒトガバアキタラズト上文ノ國

危ノユエヲトクコトニ義バカ
未有仁而遺其親者也未有義而後其君者
也

遺ルトハスツル仁ノ道ハ親ヲ愛スルコリ切ナルハナク義ノ道ハ君ヲ尊フコリ大
ナルハナレ君ニツカラニ義ヲ行フテ利ヲムサボル心ナケレバ臣民コレヲ仁義ニ行フ

オハ君ヲユルカセニ親ヲスツルモノハ決メテ君ノ仁義ヲコノムノサヒイツイニ君ニ歸シ
求メテ却テ利ヲ得ルナリコレ上ニ仁義アルノミト云ノ意ヲ明シタルモノナリ

王亦曰仁義而已矣何必曰利
ルニナレバ必ズレモ利ヲイハヤト上文ノ意ヲムス

孟子見梁惠王王立於沼上顧鴻雁麋鹿曰賢者亦樂此乎
鴻ハ

タクヒニテ大ナリ麋ハ鹿ノタダヒニ大ナリ孟子梁ニトミリアヒ時至トツレタキ
アシク園池ノアイケニ至リ惠王ソノカヒヲキタル鳥獸ヲフリカハミテアヒツカラ

不樂也
賢者ハ不賢者ハ此レアリト云ヘタノレニズト云ハ異與ノ言ニテタカガヒニテ
ナリコノ書ノ人君ニ生ル処大方コレナリ云音ハ賢者コソカクノ如キタノレニナリ不

賢者ハコレアリト云ヘ詩云經始靈臺
經始靈臺之營之
詩經ノ大雅靈臺ノ篇
ニ出タリ靈臺ハ文王ノ

臺ノ名ナリ經始トハ地形ヲミタテ造作ヲ
庶民攻之不日成之
庶民ハ諸
民ナリモロ

ノタミガ役ニツキノ事ヲ
經始勿亟庶民子來
ノ造作ヲトリイシグ
ノ仰セ付今モ庶民ガ

親ノコトヲ子ノスル如ク
王在靈園鹿鹿攸伏
靈臺ノモトニ
園ヲ靈園ト
云樹木ヲウトリケ分モリ

處ナリ鹿鹿ハ人カ文王ノニアソビ玉フニ
鹿鹿濯濯白鳥鶴鶴
濯々ハ水ノ
見

白鳥ノ我鴨鳴アトモ
王在靈沼於物魚躍
中ニアル靈沼ノイケニイハル魚ナ
ドモサカニニテハ子ノハホメル

詞文王以民力為臺為沼而民歡樂之
解釈レ上ノ賢者ニノ而ノ後ニテ

詞文王以民力為臺為沼而民歡樂之
解釈レ上ノ賢者ニノ而ノ後ニテ

詞文王以民力為臺為沼而民歡樂之
解釈レ上ノ賢者ニノ而ノ後ニテ

詞文王以民力為臺為沼而民歡樂之
解釈レ上ノ賢者ニノ而ノ後ニテ

タノレムノ意ヲトケリ云意ハ民ヲ役ニツカヒ民カフ謂其臺曰靈臺謂其沼

勞ノ其臺池ヲ作レ民コレヲ苦勞トセズ却テヨロビタノレメリ樂其有鹿鹿魚鼈

曰靈沼トテナヤイケノマニカニ出來ルト云ハ人カ樂其有鹿鹿魚鼈トテナヤ

コノ臺池苑圃ヲツクリ民ト居ニ湯誓曰時日害喪子及女偕亡文王ノ民ヲ愛シ

夏ノ桀王ノ暴虐ナルヲ伊尹ガ湯ニタノレテイサメタレハ桀王アサワラフテ我ガ天下ヲ

ヲニクンデコノ桀王ハイツレノ時カホロビシ民欲與之偕亡雖有臺池鳥獸豈能

獨樂哉人君ヒトリタノレシテ下民ヲメグムズ民コレト居ニホロビトスニ至ラバ臺池

於河内魏ノ領内河内ノ地凶年ニテ耕作ノナリカタキサハ河内ノ農民ノ上レワカク

諸侯ノ卑下ノ詞ナリ惠王レシ心ニテ河内凶則移其民於河東移其粟

於河内魏ノ領内河内ノ地凶年ニテ耕作ノナリカタキサハ河内ノ農民ノ上レワカク

東ニテ作りタル粟ヲ河東ニ殘レ置タル老幼ノ足ヨハニ河東凶亦然河内ノ凶

察鄰國之政無如寡人之用心者鄰國之民不加少寡人之民

不加多何也鄰國ノレキヲミルニ吾カ如ク心ヲ用ユルモノナレ然レバ吾ガ民ハ

數ヲ加ヘズ吾ガ民モ多キ數孟子對曰王好戰請以戰喻孟子ノコタヘニ

或五十步而後止以五十步笑百步則何如填ハ太鼓ノ音イクサニハ大コソツ

兵ハ武器ノ惣名刃ハ劔戟ナリ云意ハ兩陣互ニ鼓ヲウチテ矢士ヲスバ手ツメノ

勝負ニナリタカヒニケテ甲ヲモヌギステ劔戟ヲヒイテニゲルリ五十間ニ止ルモマ

リ百間ニテフミトニルモアル寸ニ五十間不可直不百步耳是亦走也尺ニニナ

以テ百歩ノワラハレザルヲ知ラハ民ノ鄰國ヨリ多カラシコト望ニ玉フニシキ

不違農時穀不可勝食也民ノ鄰國ヨリ多カラシコト望ニ玉フニシキ

夏耕秋オサムルノ農ノ時ニ民ヲハム役ニツカハズ冬ノ農隙ニ至リテツカヘバ

妨ナクノ民ヨク農業ヲツトムルユヘ五穀アゲテクヒツクサレヌナリ

四書圖考

卷一 孟子

孟子

數罟不入洿池魚鼈不可勝食也

數ハ音促キビシク目ノツニリタルコトヲ訓メタビク

ナリ罟ハアミナリ數罟ハスキナク目ノコニカナルアミヲ云洿ハ自然ノイケ池
ハ入ノホリタルイケナリ洿池ハニイケト訓ズ古ノ法ニ魚尺ニニタガレバ市ニ
ウレコトヲ得ズ人クヲフコトヲ得ズ數罟ハハク
小魚ヲトルアミナレハ是ヲ用ヒガレトナリ 斧斤以時入山林材木不可勝
用也 大ナル斧斤ト云ヒ小ナル斧斤ト云ヒナオノナリ古ノ法ニ草木ノ葉オチテ
ノチニ山林ニイリ斧斤ヲ以テキリト山林川澤ニテ得タル処ノ利ヲモ君バ
カリニアラズ民ト用ニ是ヲトルソレユヘカコヒラレ 穀與魚鼈不可勝食材
木不可勝用是使民養生喪死無憾也 五穀魚鼈クヒツクサレバ材木
宮室ヲツクリ死者ノタメニハ穀魚鼈ハ飲食ニ用ヒ材木ハ死ヲオクルノ棺槨
ニ用ラコト人ノ急ニスル処ナルニ不足ナキトキハ残りタタキノウラミナシ

養生喪死無憾王道之始也 王道ト云ハ民心ヲ得ルヲ本トスルコトナリ農
ノハジメコレ又人ノコレラヘタル法ニモアラズ 五畝之宅樹之以桑五者可以
衣帛矣 上ニアル三條ノコトヲナレトゲテ後ニ王道ノクハシキコトヲク農民一夫コトニ
上ヨリ五畝ヲ王ハル畝ハウナリ民ノ居宅五畝ノ内ニ畝半ハ田ニアリ春ヨ
リ是ニイテ農業ヲツトム残りノ二畝半ハ邑ニアリテ冬ハコレニナル此ノ宅ノ六リニ
桑ヲクハ蚕ヲカヒ帛ヲオム五ヨリハオトローユヘ帛ヲキテ寒氣ヲフセグ五ヲナシ子
キヲキル 雞豚狗彘之畜無失其時七十者可以食肉矣 雞ハニハトリ
コトヲ得ズ 豚ハイノコト訓
ズブタナリ 狗ハイヌ又彘ハメブタナリコレヲ畜ヒテ肉食ニ用フ時ヲ失フ
コトナレトハ子ヲハラミタルトキ殺サヌヲ云月令ニ孟春犧牲ニ牝ヲ用フルコ
トナレト云ハコレナリノ人七十ナリテ肉ニ 百畝之田勿奪其時數口之
家可以無飢矣 上ノ農ノ時ニ違ハズト云ハ民ノタメニ定制ナシコトニハ一夫コ
トニ上ヨリウケル処田百畝ヅニテ此ノ方ノ一町余ナリ是ヲ
一家ニテツクル農業ノ時ヲサケテハム役ニツカヒ耕作ノ妨ヲセザレバ飢渴ノ
ウレナシ 數口トハ民家ノ父母妻子農夫兄弟ヲ加ヘテ六七人ヲ云案スルニ惠
王ノ問ハ凶年ノコトナリ孟子ノ答ハタバ農隙ノコトニナリ豊年ニテ得タル
米穀ヲノ年キリニ食ヒツクサズ凡ノ三年ツクリテ一年ノクヒモノヲ貯シクコトナ
レバ凶年ニアタリテ俄ニ驚馬クニアラズ何ホド農事ヲサセタゲズ凡ハ旱洪水ニハ
凶年ヲ免レサルコトナリニコトニ農古又ヲ 姑蘇キコトヲオモク戒メ玉ヒタルハ古ハ
農ノリ兵ヲ出スニヨリ農民ヲ 謹庠序之教申之以孝悌之義頒白
者不負戴於道路矣 庠ハ一里ノ中ニアル千イサキ学校ノ名一序ハ一郷ノ

ヨク兄長ニ事フルヲ云頒白トハ半分シラガニナリタルコト民ノ衣食タリ
テ後ハ礼義ヲオシユルコトナリヨリテ学校ヲウケテ五倫ノ道トテ君臣父
子夫婦昆弟朋友ノ交リ六藝トテ礼樂射御書數ヲナラハセコレニカサ
ヌルニ孝悌ヲオモシジオシユカクノ如クナラバ人ミナ親ヲ愛シ兄長ヲ敬

子夫婦昆弟朋友ノ交リ六藝トテ礼樂射御書數ヲナラハセコレニカサ
ヌルニ孝悌ヲオモシジオシユカクノ如クナラバ人ミナ親ヲ愛シ兄長ヲ敬

子夫婦昆弟朋友ノ交リ六藝トテ礼樂射御書數ヲナラハセコレニカサ
ヌルニ孝悌ヲオモシジオシユカクノ如クナラバ人ミナ親ヲ愛シ兄長ヲ敬

子夫婦昆弟朋友ノ交リ六藝トテ礼樂射御書數ヲナラハセコレニカサ
ヌルニ孝悌ヲオモシジオシユカクノ如クナラバ人ミナ親ヲ愛シ兄長ヲ敬

子夫婦昆弟朋友ノ交リ六藝トテ礼樂射御書數ヲナラハセコレニカサ
ヌルニ孝悌ヲオモシジオシユカクノ如クナラバ人ミナ親ヲ愛シ兄長ヲ敬

子夫婦昆弟朋友ノ交リ六藝トテ礼樂射御書數ヲナラハセコレニカサ
ヌルニ孝悌ヲオモシジオシユカクノ如クナラバ人ミナ親ヲ愛シ兄長ヲ敬

子夫婦昆弟朋友ノ交リ六藝トテ礼樂射御書數ヲナラハセコレニカサ
ヌルニ孝悌ヲオモシジオシユカクノ如クナラバ人ミナ親ヲ愛シ兄長ヲ敬

子夫婦昆弟朋友ノ交リ六藝トテ礼樂射御書數ヲナラハセコレニカサ
ヌルニ孝悌ヲオモシジオシユカクノ如クナラバ人ミナ親ヲ愛シ兄長ヲ敬

子夫婦昆弟朋友ノ交リ六藝トテ礼樂射御書數ヲナラハセコレニカサ
ヌルニ孝悌ヲオモシジオシユカクノ如クナラバ人ミナ親ヲ愛シ兄長ヲ敬

スルヲ知テワカキモノハ老人ニ七十者衣帛食肉黎民不飢不

寒然而不王者未之有也五十ノモノ帛ヲキ七十ノモノ肉ヲク此

ハクコレトヨムカレラノクロキナリ老若トモニ飢渴ノウレハ狗彘食人食而

不知檢檢ハ制ナリ狗彘ノイヌヤフタラコヤサンタメニ人ノ食ヲクハセドモ

是ヲ制レトバメテ人ノタメニオレニタクハフコトヲシラストコロヨリ

惠王ヲセム塗有餓莩而不知發餓莩ハウエレニナリニチニウ一死ノ

クウコトヲ人死則曰非我也歳也人ノ死スルヲ見テハ我ガナヌ処ニアラス凶

レラマ年ナルユヘリト云上ニ云フ処ハ井田ト同シ

クニテ民ニ田地ヲアタヘコト云家ナクオレハホドコサヌ人ナレヨリテ領自

ノモノ道路ニ荷ヲオヒ又ハカシラニイタクノ勞ナレ惠王ハ民ニ田業ヲサツク

シノウヘ民食ノツイユルヲモ制禁セズ凶年ニユキタラハモノアレバ君ノ米クワ

ヒラキテマクハズコレ凶年ナルユヘナリト罪ヲ天ニ歸マカヤウナレハ河東ニウツレ河

内ニウツマ処ノ米モ民ノは何異於刺人而殺之曰非我也矢也人民ノツ

ツクリトリタル米ナラント死スルヲマク

ウツラシラズ凶年ノナヌ処ト云ハ人ヲ民ノ飢死

サレ殺シ我ハアア劔戟ナリト云ニ同ト王無罪歳斯天下之民至焉惠王ニハ

ヲミヅカラカヘリニテ歳ノトガニセズノ王道ヲ行ヒ王ハ民ノ飢死

鄰國ヨリ民數ノ多キニトラス天下ノ民ガ悉ク至リ來ラントナリ梁惠王曰寡人願

安承教孟子ノ云フ処ヲ尤トキ、ウツケテ子ガハクハ孟子對曰殺人

以挺與刃有以異乎孟子ノコタヘニ人ヲ殺スニ挺ニテタキ、曰無以

異也コレチガフ以刃與政有以異乎唐政ヲ以テ人ヲ殺スト刃ヲ以

テテ孟子ノトヒナリ曰無以異也惠王ノコタ曰庖有肥肉廄有肥馬民

有飢色野有餓莩此率獸而食人也王ノ庖ニハユヘタル肉アリ民ニハヒタルウナ

カホツキアリ山野ニハタラレ死レタルモノアリコレハ王ノ子ニグヲトリオサメ

禽獸ノヤシナヒニセラルユヘケモノハ人ノ食ヲクヒテコトフトリ人ハウヘ死スルニ至ル

ハシメタルモノハ子孫タヘニト 如之何其使斯民飢而死也 備本ニテ作

ノ玉フソノ不仁ヲニクミテナリ 聖人ハソノ不仁ヲニクミ玉フイカニゾモコトノ

レ人ノ形ニコレラヘタルニヨリ 王ノ急トスル処ハムゴキ政ヲセラルハトトムルニアリソレユハ民ノケルヲトキテ

王ノ良心ヲウゴカシ備フツクルモノハカリニモ不仁ナルヲラスレバ後ナキヲ以テソノ

ムクヒヲサトス季氏ノ説ニ人君トノ歎ラヒキイテ人ヲハハレメントタクムニハアラ

サレバワガ欲心ニヒカサレ民ヲメグミガレハイフトナクコトニ至ル故ニ人君ハ民ノ父母

タルヲトク実ニ父母ノ子ヲ思フ如クナラバ萬事ニツケテ心ヲ用ヒテ 梁惠王

曰晉國天下莫強焉 魏氏韓氏趙氏ノ三大夫春秋 及寡人之身

ヲ三晋ト名ツクヨリテ魏ヲ晋ト云ヘルナリ此ノ晋國ハ先祖ノ時 及寡人之身

土地兵甲ノ雄ヲホシヒミニメタカハカキ 攻バト天下コレニコタルハナレ 西喪

惠王時 東敗於齊 長子死焉 長子ハソウリヤウナリ 惠王ノ三十年ニ

ニアタリ 地於秦七百里 河内少梁ヲ秦ニ 南辱於楚 又楚ニ七邑

比死者一洒之 寡人ガ身ニアタリ先祖ニ恥ヲノコス子ガ 如之何則可

ドウシテ 子血子對曰 地方百里而可以王 王ソノ地ヲウシテヒイクサニケタ

ニ國ヲツヨクセントナラハ百里バカリノ地ニテモ 王如施仁政於民 民ヲ得ル

天下ニ王タルベシ況ヤ梁ノ千里ヲタモテルヤ 薄稅歛 仁アリ仁政ヲ

行ハントナラバ 省刑罰 刑罰ヲ省クトハ小過ヲユルレスキモエナク 薄稅歛

稅歛ハミナオサムルナリ 田知山川ヨリトル子ニグヲ云コレヲウスクスルト云ハ

古ノ法ノ如ク十分ノ外ヲトラヌヲ云カクノ如クナレバ民ノ生涯ヲヤシメスコレ

仁ノ大深耕易耨 上ノ仁政ニヨリテ民ミナ家業ヲツトムルヲ得テタガハス

目ナリ 父母妻子ヲヤレナクフヲ得ルナリ 易ヲオサクレト 壯者以暇且修其孝悌

訓スル手ナレトシゴナスト甲クサトルニテテレチヌスヲ云 壯者以暇且修其孝悌

忠信 忠上我ガ心ノアリタケヲツクノノコサヌヲ信トハ詞ノタガハヌヲ壯者トシ

ワカナルモノハヒトキハ父母ニツカフニフルノ孝 兄長ニツカフニツルノ悌 忠信

ノナトヲ心ニ合点サセ身ニ入以事其父兄 出以事其長上 民ステニ孝悌忠

行フヲラントヤサセテ 家内ニハテハヨク父兄ニツカヘ外ニ出テハ 可使制挺以撻秦楚之堅甲

物カレラ君上ニツカフニ仁政ノ化スル処ナリ 可使制挺以撻秦楚之堅甲

利兵矣 上ノ如クナレバ壯者トモ上ノ事アルニソグンテハ撻ヲツクリモチテモ秦楚

オモムキ死ヲワスルノ義アリテ強キヲタノズ仁政ノ化スル処 彼奪其民時

ニハ耕作ノイソガレキ時尼云ハブ軍役ニ民ヲカリツカヒタガヘレクサギリテ衣食ヲ
 タラレメテ父母ヲ養フコトヲ得ス父母ニウヘコトセサセ兄弟妻子モハナレクナリ
 ナリニナリユクト此レヨリ下ハ仁彼陷溺其民王往而征之夫誰與王
 政ヲ行フ君ノ玉タルベキヲトキタリ
 敵 陷ハオトシアナ溺ハオボル水ニオボラスヲ云敵國ノ政ハハナダムコク民ヲオ
 ト子ガフ時トシレバ今ツノ仁政ニナフキタレ民ヲヒキツレ虐政ノ故曰仁者無
 君ノ罪ヲ多サレバタレカ王ニ敵スルモノアラントナリ
 敵王請勿疑コノユヘニ古語ニモ仁者ニハ敵スルモノナレト云フアリ百里ニノ王
 思ヒツカ云フ処子學子見梁襄王惠王卒ノ子ノ襄王名ハ赫ト云フ
 出語人曰オコナハルベキカ行ハルニシキカヲカニカヘンタメナリ襄王ノ威儀モ
 ノガタリ道ニカナハザルユヘ子孟子コノ國ヲ望之望之ニ遠ニ去リ不似人君去ラント思ヒ襄王ニアイ出テ人ニツケテ
 威勢ナシ人君ニ似ズトハ人ノ著ラレクナイト云フ 就之而不見所畏
 焉チカヨレトオツ卒然問曰天下惡乎定形ノ威儀ナキノミニアラズソノ
 問テ人天下ノ國々互ニアイアラソフ終リハイカヤウニナリテ此ノ亂世ニ吾對
 曰定于二天下ノイキホヒワカルレハアラソヒ合スレハサタニル人君天下ヲアハセ
 二統也ハ諸國ノ法度フヒ分シモ一人ヨリ出テ上ノ仰セトニソムクモノ
 如クテヨリ定ル孰能一之襄王カサテトフ國々ノ君ノ徳兵ノ多ク
 對曰不嗜殺人者能一之嗜ムトハコノニスクコナリタカヒヲスキテ人民
 死スルニ至ラシムルハ人ヲ殺スコトラスクナリ今モ
 カクノ如クセズメ仁政ヲオコチフ君ヨク天下ヲ統セトナリ孰能與之襄王ニタトフ
 タレニサル君アリ臣タレ人カ 對曰天下莫不與也カクノ如キノ君アラバ天下
 王知夫苗乎以下天下ノ人仁者ニ歸スル七八月之間旱則苗槁矣孟
 ハ周ノ人ナルユヘ七八月ト云夏ハ寅ノ月ヲ 天油然作雲沛然下雨則
 以テ正月トスレバ今ノ五六月ニアタルナリ
 苗淳然興之矣五六月ノココヒテリノスレバ水ノウルホヒチキユヘカルヨリテ
 大雨ヲフラレタタストキハ 其如是孰能禦之苗ノオキアガルイキホヒヲ
 今夫天下之人物未有不嗜殺人者也牧ハヤレナフナリ人ヲヤレナフモノハ
 君ニ人ヲユロスコトヲスキコノニスモノハナキニヨリ 如有不嗜殺人者則天

民ニナヒテリニ雨ヲノグム如ク仁君ラニフ

下之民皆引領而望之矣モレコノ時ニアタリテ人ヲコロスヲラスキコ

然誰能禦之カクノ如クスル君アラハ民ノゾミヲモムク水之就下沛水ノヒキ

然誰能禦之カクノ如クスル君アラハ民ノゾミヲモムク水之就下沛水ノヒキ

然誰能禦之カクノ如クスル君アラハ民ノゾミヲモムク水之就下沛水ノヒキ

然誰能禦之カクノ如クスル君アラハ民ノゾミヲモムク水之就下沛水ノヒキ

然誰能禦之カクノ如クスル君アラハ民ノゾミヲモムク水之就下沛水ノヒキ

然誰能禦之カクノ如クスル君アラハ民ノゾミヲモムク水之就下沛水ノヒキ

然誰能禦之カクノ如クスル君アラハ民ノゾミヲモムク水之就下沛水ノヒキ

然誰能禦之カクノ如クスル君アラハ民ノゾミヲモムク水之就下沛水ノヒキ

然誰能禦之カクノ如クスル君アラハ民ノゾミヲモムク水之就下沛水ノヒキ

然誰能禦之カクノ如クスル君アラハ民ノゾミヲモムク水之就下沛水ノヒキ

然誰能禦之カクノ如クスル君アラハ民ノゾミヲモムク水之就下沛水ノヒキ

然誰能禦之カクノ如クスル君アラハ民ノゾミヲモムク水之就下沛水ノヒキ

然誰能禦之カクノ如クスル君アラハ民ノゾミヲモムク水之就下沛水ノヒキ

然誰能禦之カクノ如クスル君アラハ民ノゾミヲモムク水之就下沛水ノヒキ

然誰能禦之カクノ如クスル君アラハ民ノゾミヲモムク水之就下沛水ノヒキ

然誰能禦之カクノ如クスル君アラハ民ノゾミヲモムク水之就下沛水ノヒキ

然誰能禦之カクノ如クスル君アラハ民ノゾミヲモムク水之就下沛水ノヒキ

然誰能禦之カクノ如クスル君アラハ民ノゾミヲモムク水之就下沛水ノヒキ

然誰能禦之カクノ如クスル君アラハ民ノゾミヲモムク水之就下沛水ノヒキ

然誰能禦之カクノ如クスル君アラハ民ノゾミヲモムク水之就下沛水ノヒキ

然誰能禦之カクノ如クスル君アラハ民ノゾミヲモムク水之就下沛水ノヒキ

然誰能禦之カクノ如クスル君アラハ民ノゾミヲモムク水之就下沛水ノヒキ

然誰能禦之カクノ如クスル君アラハ民ノゾミヲモムク水之就下沛水ノヒキ

然誰能禦之カクノ如クスル君アラハ民ノゾミヲモムク水之就下沛水ノヒキ

然誰能禦之カクノ如クスル君アラハ民ノゾミヲモムク水之就下沛水ノヒキ

然誰能禦之カクノ如クスル君アラハ民ノゾミヲモムク水之就下沛水ノヒキ

然誰能禦之カクノ如クスル君アラハ民ノゾミヲモムク水之就下沛水ノヒキ

然誰能禦之カクノ如クスル君アラハ民ノゾミヲモムク水之就下沛水ノヒキ

文之事者是以後世無傳焉臣未之聞也孟子ノコタヘニ仲尼ノトモカラニハ

自ラヘリクタリテ臣無以則王乎是非トモニイハセント曰德何如則可ナラバ王道ヲカタラン

以王矣イカヤウナル曰保民而王莫之能禦也保スハタモチアレ

曰若寡人者可以保民乎哉コノ方ノ

曰臣聞之胡齒曰王ノ臣胡齒ノ王坐於堂上有牽牛而過コノ方ノ

堂下者王見之曰牛何之王アルトキ堂上ニコザナサルハニ牛ヲヒキテ

將以擊鐘鼎暴ルトハ古ハ廟宇又ハ器物ノテキタルトキ牲ヲコロシ血ヲヌ

物ヲ神靈ニスルナリ牛ヲヒキテユクモノ王曰舍之牛ヲコロス

吾不忍其物ヲ神靈ニスルナリ鐘鼎暴ルトハ古ハ廟宇又ハ器物ノテキタルトキ

穀鯨若無罪而就死地ニヒカレユクカ如クオソレカナシム形ヲニルニコラヘ

對曰然則廢擊鐘與カ子ニ血ヌル曰何可廢也以羊易之ハ

不識有諸實ハシラズカヤウ曰有之王キテテハホド

牛トトリカコ

孟子

孟子

孟子

孟子

曰是心足以王矣牛ノ死ヲミルニ忍ヒサルノ心ハ仁ノ端ニシテオシヒコムルトキハ天下ノ民ヲ保スベシヨリテ王タルニ足レリト云

百姓皆以王爲愛也臣固知王之不忍也民ノ心ニハ王ノ羊ト牛トカヘラレハ牛ヲオシミテノト思

然則臣孟子ハモトヨリ王曰然誠有百姓者然リトハソウヂヤト云一孟子ノ詞ノ如クナリ

牛ヲカヘタルハオシムニ似タリ民齊國雖褊小吾何愛一牛齊國ハセバ多クカクノ如ク云テソレモノアラシ

牛一匹即不忍其觳觫若無罪而就死地故以羊易之也牛ノヲオシニヤト

曰王無異於百姓之以王爲愛也民ノ王ヲ以テ牛ヲオシニヤト

以易大彼惡知之コレヨリ下ハ孟子難問ヲ設テ王ヲヒツメルナリ云意ハ羊ノ小ナルヲ以テ牛ノ大ナルニトリカヘ

王若隱其無罪而就死地則牛羊何擇焉牛ノツミナクノコロサルモ羊ノ罪ナクノ死スルモ同シ

我非愛其財而易之以羊也宜乎百姓之謂我愛也牛ハアタヒノ貴キモノナレバソノ財ヲオシニテ羊ニカヘタルニアラザレハ

又ノ説ニ財トハステ用ニツカヒ益ニナルモノヲ云ニ曰無傷也是乃仁術也見

牛未見羊也術ハ法ノ通りニユカヌトリノ合セテ法ニカナクセルヲ云孟子王

仁ノ術ナリナニユヘナレハ牛ノ死ヲカナシムハ眼前ニシル処ニ羊ノ死ヲ

オソルハニタ見ザルユヘナリトコレ牛ノ死ヲオソルハラミテ殺スヲフビニ思ヒナガラ

コロセバ忍ビザルノ心ニタエ又牛ヲコロサレバ血ヌルノ痛スタル共ニ志レ行ハレスコ、

ニオイテ未ダニ又処ノ羊ヲコロコノ兩ナカラ人キヲ得ルガ術ト云モノナリ

君子之於禽獸也見其生不忍見其死聞其聲不忍食其肉是以君

子遠庖廚也庖ハコノ方ニテタイトコロト云モノナリソノ肉ニ包ハレサム

天ヨリウケタル処ハ同シナレユヘソノ生ヲミテソノ死ヲミルニタヘズコサ

ルトキカナシニナク声ヲキケバソノ肉ヲタラフニ忍ヒズ然レハ牲肉ヲ以テ祭

祀ニ奉レ賓客ヲモテナレ老人ヲ養フハ天ノ命スル処ナレバ人ノワタケシ見

スツルコナラザルユヘオリ処タイトコロニ遠サカリテイキタルモノヲ殺スコトカナ

シニナク声ヲキクモノノ肉ヲ食ハズコレ術ヲ以テ仁ヲトゲ行フナリ殺スベキモノ

ト云ヘ凡ミヅカラ殺スコトタヒクナレバ禽獸ハカリニアラス後ニ人ヲ殺スコト何

思ハヌヤウニナリテ王説曰宣王ハジメ羊ヲ以テ牛ニカヘ孟子ニ殺スニ忍ヒズハ

仁心ヲタチホロボスナリ牛羊ナシゾワカント咎メラレテ心トヒタルヲ又庖

廚ニトガカレノ説ニヨリ詩云他人有心予忖度之夫子之謂也詩ハ小雅

察識ノ端ヲテヨロコベリ

孟子

篇三出タリ孟子ヲタツト三太夫ノ格ニ夫子ト稱ノ詩ニ他人夫我乃行之
心アリテワガレラサル処ヲハカリシルトハ夫子ノナレベレト
反而求之不得吾心ハソレ我レコノヲ行フテ反テ何夫子言之ワガ心ヲ

合点ノユカヌ処ヲ他テ於我心有戚戚焉夫子ノ詞ヲキ、テ前ニ牛ヲミタル時
人ノ夫子コレヲイフノ如ク戚々ト心ウゴキテイタメルア
ルハ夫子ノワガ心ヲ此心之所以合於王者何也牛ヲ殺スニ忍ヒザルハ仁ハ仁
ハカリ玉ヘユヘナリ

レバ天下ヲ保スルノ大仁ナルヲ知ラザルニヨリ孟子曰有復於王者曰吾カ
ニ重子テ問フ此ノ小仁ノ王道ニ合フニハドフレタツト曰有復於王者曰吾カ
足以舉百鈞而不足以舉一羽宜王ハ小仁ノ天下ノ民ニ及フニキカトウタ

オレヒロメミタシムレハ大仁ニ至ルベキヲ云百鈞ハ三千斤ナリ明足以察秋毫
之末而不見與薪ヲ云與薪ハクルニツミタルタキナリ目アキラカニモノ

末ヲモ見ワケナガラ車ニ則王許之乎上ノ如ク王ニ云フモノアラバ曰否同心アル
ツミタル薪ヲニルヲナラズト

ナリ今恩足以及禽獸而功不至於百姓者獨何與人ハ萬物ノ中ニテスガ
人ト人トハ同類ナルユヘ相親シムヨリテ側隱ノ情ノ発スルヲモ民ノタメニハ切ニ
メ禽獸虫魚ナトノタメニハユル仁道ヲホドコスヲモ同類ナレバ民ヲイツクシムヲハ

ヤスク禽獸ヲアハレムヲハカクテ王ニハ半ヲ殺スニ忍ヒサレハ恩發ハ禽獸ニ
及フニタリテツツ功ヲアラハスヲ却テ百姓ヲ保スル方ニ至ラスソノムツカレキ
ヲバナレテコロヤスキ方ヲナサハ上ノタトヘニソムクハ獨然則一羽之不

トリワケ何ソヤト宜王ハ物ヲ愛スル君ニラサシムヒラキサトサシタメニ云リ
與爲不用力焉百鈞ヲアクルカニテ一羽ヲアケラレ輿薪之不見爲不用
明焉意上ニ百姓之不見保爲不用恩焉コレ恩惠ヲ故王之不王不爲

也非不能也ナリナラズニハアラズ曰不爲者與不能者之形何以異サカサカ
不爲トハ手前カラテキルヲモセスナリ不能トハナリカキコトナリ
宜王ナラアタフニシキカトウタカヒテ心ニヨリユヘツノ形状ヲトヘルナリ

山以超北海語人曰我不能是誠不能也泰山ハ東岳ナリ五岳ノ一コノ泰
山北海南語人曰我不能是誠不能也山北海南ノ近辺ナルユヘタトヘニ

不爲也非不能也長者トハ我レヨリ目ウヘノ人ヲ云長者ノ仰セニ故王之不
爲長者折枝語人曰我不能是

至非挾泰山以超北海之類也王之不王是折枝之類也ナルヘキヲナレト
ヲ又老吾老以及人之老ワガ父兄ニヨクツカフニツリテツレヲ他人ニモ及マ

王タルノ幼吾幼以及人之幼是ワガ子弟ヲヤシナフテ天下可運於是ヲ他人ニオシ及ホス

掌ソノモトハワガ身ヨリ出テ、コレヲオシヒロムルトキハ詩云刑于寡妻ニ及ビヨリ家ヲトシ邦ヲオサム

妻至于兄弟以御于家邦大雅思齊ノ篇ノ詩ナリ寡ハスクナレテ訓

仁心ヲ以テ妻ニ加フレバ妻正シク兄弟ニ及ビヨリ家ヲトシ邦ヲオサム言舉斯心加諸彼而亡孟子詩ノ意

故推恩足以保四海不推恩無以保妻子ヲカヤウシワケナルニ人君ノ恩愛ノ心ヲオシヒロムレハ四海ノ民ヲ保ニスルニ足

古之人所以大過人者無他焉善推其所為而已矣古ノ先王

世ノ政ニスグレタルハ別ノ仁道ヲ以テ妻子兄弟ニノルニスル恩愛ヲオシヒルバカリニト今則恩足以及禽獸而

功不至於百姓者獨何與恩愛牛ヲスラ殺スニ忍ビケルニシテ民ヲスラ

是ヲ問フハ宜王ニナニユヘ王道ノ權然後知輕重權然後知輕重權ハハカリノオモレ

度然後知長短度ハ

物皆然心為甚王請度之物ノカロキ

長キ短キハサレテサレテ後ニシル物トニニナカヤウノフゾトナリ此ノ長

短輕重ノタガヒハ一事ニ害アルノニナリ一タヒ心ノタガフトキ八万事コトトク

度トスベキモノハ本然ノ善ナリ天ヨリウケ得タル処ハミチ善ナレバ人欲

抑王興甲兵危士臣抑ハ発語ノ辭ナリ甲兵ハスベテ兵器ヲ云フ

構怨於諸侯然後快於心與抑ハ発語ノ辭ナリ甲兵ハスベテ兵器ヲ云フ

王曰否吾何快於是王曰否吾何快於是

將以求吾所大欲也本然ノ權度ハホロビガレテ欲ノタメニ

曰王之所大欲可得聞與孟子コノ王ノ欲スル

王笑而不言王イヒカ子ワラフ曰為肥甘不足於口與孟子ハ王ノ大欲ヲ

輕煖不足於體與孟子ハ王ノ大欲ヲ

事ヲナラベ設テサグリ問テ王ノ大ニ欲シ玉フハコエタル肉ノムニキニテキタラヌユヘカト以下ニテ孟子ノトヒナリ

輕煖不足於體與孟子ハ王ノ大欲ヲ

事ヲナラベ設テサグリ問テ王ノ大ニ欲シ玉フハコエタル肉ノムニキニテキタラヌユヘカト以下ニテ孟子ノトヒナリ

事ヲナラベ設テサグリ問テ王ノ大ニ欲シ玉フハコエタル肉ノムニキニテキタラヌユヘカト以下ニテ孟子ノトヒナリ

事ヲナラベ設テサグリ問テ王ノ大ニ欲シ玉フハコエタル肉ノムニキニテキタラヌユヘカト以下ニテ孟子ノトヒナリ

事ヲナラベ設テサグリ問テ王ノ大ニ欲シ玉フハコエタル肉ノムニキニテキタラヌユヘカト以下ニテ孟子ノトヒナリ

事ヲナラベ設テサグリ問テ王ノ大ニ欲シ玉フハコエタル肉ノムニキニテキタラヌユヘカト以下ニテ孟子ノトヒナリ

アタ、カナル衣類、抑爲采色不足視於目與語ノハヒラアラタメテ抑ク采色ノイロドリノ目ヲヨコシムルニタ

ラザルガタメナルカ聲音不足聽於耳與絲竹謳歌ナドノ耳ニキクニアキラザルカ便嬖不足使令於前與便嬖ノ人ニ使令スルニタ

御スニツカハル、モノ、タラサルカノウツクレキ男女ノ使令シ王之諸臣皆足以供之而王豈爲是哉コレヲノコラ欲シ

モロハノ臣ミナト、ノヘソナフルニタレリシカルニナラ此ノタメナカトナリ曰否吾不爲是也玉キ、テコレヲクハ大ニ

タメ曰然則王之所大欲可知已孟子曰ナリ上ニ問フ処ニアラザレバ欲辟土

地朝秦楚益中國而撫四夷也齊ノ土地ヲオヒラキ秦楚ノ大國ヲモコノ

北狄ノ四夷ヲナゲヤスセント以若所爲求若所欲猶緣木而求魚也兵ヲ用テ

士臣ヲアヤブメウラニラムスビテカクノ如ク土地ヲヒラキ秦楚ノ強敵ヲモ來朝サセ

中国ニゾミテ四方ノ臣ヲ撫育セント欲スルハ本ニボリテ魚ヲ求ムルガ如シトシテ得

ラレニシ王曰若是其甚與ワカボルル処木ニボリテ魚ヲ求ルガ曰殆有甚焉

殆モ登語ノ詞ナリ木ニヨリテ魚ヲ求ルル縁木求魚雖不得魚無後災以若所

爲求若所欲盡心力而爲之後必有災木ニヨリテ魚ヲ求ルハ魚ヲ得ラレヌ

如キハ心カラツクノ曰可得聞與後ノ災ノユヘ曰鄒人與楚人戰則

王以爲孰勝鄒ハ小國曰楚人勝楚ハ大國曰然則小國不可以

敵大寡固不可以敵衆弱固不可以敵強小國ハ兵スクナク勢ヒヨハレ

小寡弱ハ大衆強海内之地方千里者九一州コトニ千里四方ナリ齊ハ

九分ノ一ナリ齊集有其一州ノ一分ナリ以服八何以異於鄒敵

楚哉齊ハ九州ノ一分ナレバ一州ヲ以テ八州ヲ服シタカシ鄒ノ楚ニ敵對スニ

蓋亦反其本矣蓋ハ登語ノ詞ナリツノ本根ニタチカヘトハ仁道ヲ

發政施仁宣王ニハ八州ヲ服セントナラハ牛ニ忍ビガルノ心ヲオシヒロメ天下ニ

使天下使者皆欲立於王之朝齊ノ一國ノニコカキラス天下ノ仁君ヲ得テ仕

子ガフト此ヨリ下ハ仁耕者皆欲耕於王之野王ノ野ニ耕作セニテ子ガヒ

政ヲ行フシルミヲトク耕者皆欲耕於王之野王ノ野ニ耕作セニテ子ガヒ

商賈皆欲藏於王之市アリキテウルアキビトナ高ト云ヒ居ナガラウルヲ賈

ト云共ニアキヒトナリ此ノアキヒトナモ王ノ市ニラシ

行旅皆欲出於王之塗道中スル人モ王ノ国ニ出テ行ク欲スルナリ天下之欲疾其

君者比皆欲赴愬於王天下中ノ民ノツノ国ノムゴキ政ヲニクニテアタラセシト思フモノハ三ナニツゲウツクヘ罪ヲタメレテスルハ

其若是孰能禦之遠キモノ歸スレバ近キモノハ云ニ及バズ天下ノ民ノ從フトキハソク勢ヒタレカヨクフセギトハムヘキ大

王曰吾惛不能進於是矣王ノ云ク

願夫子輔吾志明以教我ノワガ志

我雖不敏請嘗試之敏ハトシテ訓ズ不敏ハトカラス

曰無恒産而有恒心者

惟士為能恒産トハサダニリタルスギハヒラ云恒心ハ天理自然ノ善心ナリ仁政ノ

苟無恒心放辟邪侈無

為已モシ定ニリタル本心ヲウシナヘバ放辟邪侈トテトリハナレニナリタル心ヨ

及陷於罪然後從而刑之是罔民也鳥ノ目ニ三ヘヌヤウニホソキ

焉有仁人在位罔

民而可為也位ニアルハ君ナリ民ニ君トノ民ヲ

是故明君制民之

產民ヲイツクシムヨリ仁君ト云ヒ民ノイタミヲ明ニレルヨリ明君ト云

必使仰足以事父母

俯足以畜妻子仰クトハアノク

樂歲終身飽樂歲ノユタカナレハ

凶年免於死亡凶年ノ不作ナルトキ

故民之

從之也輕上ニ云フ処ハ三ナ常ノ産アルニヨリ常ノ心

今也制民之產仰

不足以事父母俯不

足以畜妻子今ノ代ハ民ノ産業ヲ制スルノ古法

樂歲終身苦豊年ナレバ子シテ

凶年不免於死亡凶年ノ不作ナルトキ

故民之

從之也輕上ニ云フ処ハ三ナ常ノ産アルニヨリ常ノ心

今也制民之產仰

ヨリ丁身ヲ終ル凶年不免於死亡凶年ト云ヘヒサダマリノ子ニクラ

此惟救死而恐不贍矣暇治禮義哉今也ヨリ以下ハ民ノ産ナキニヨ

身ノ死ラスクフニダモタルニシキカノ氣ヅカイアルホド王欲行之則盡

反其本矣政ヲ発シ仁ヲホドコスハ天下ニ王タルノ根本ニメ民ニ常ノ産業ヲ

狗彘之畜無失其時七十者可以食肉矣百畝之田勿奪其時八口之

家可以無飢矣謹庠序之教申之以孝悌之義頒白者不負戴於道

路矣老者衣帛食肉黎民不飢不寒然而王者未之有也コレ前ニ梁

ラレタルト同シサキニハ數口ノ家ト云ヒコニハ口ノ家ト云ハ上農夫ノ次ヲ云前ハヤレテ

オシユル意オモレコハヤレテノ意ヲ主トスコノ章ノ大意ハ覇業ヲシリソケ王道ヲ行フ

ベシト云ニアルナリ

梁惠王章句下

莊暴見孟子曰齊ノ臣暴見於王王ハ宣王ナリ王語暴以好樂王ノコ

世俗ノ暴未有以對也先王ノ樂ニアラザルヲ以テ政事ニ曰好樂何如孟子

是非ヲ問フ孟子曰王之好樂甚則齊國其庶幾乎孟子キテコレ

コノムハナハタレクハ齊ノ他日見於王曰王嘗語壯子以好樂有諸他日

ノ日ナリト孟子アルトキ宣王ノオメニカハリノ王コノゴロ莊子ニ樂ヲコノムヲツク

王變半色曰アラザルユヘガテ色ヲ変スルナリ寡人非能好先王之樂也

直好世俗之樂耳古聖人ノ樂ヲコノムニアラスタゞ當世俗中ノ曰王之

好樂甚則齊其庶幾乎今之樂由古之樂也今ノ樂ハスナク世俗ノ

人ノ樂ナリ樂ヲコノムニヨリテ國ヲ曰可得聞與古今ノカハリナク治曰

獨樂樂與人樂樂孰樂方イツレト問フ曰不若與人宣王ノコトニ

方イツレト問フ曰不若與人宣王ノコトニ

スルヲタノレムハ **曰與少樂樂與衆樂孰樂** 又子而子トフテ人ス

人情ノ常ナリ **曰與少樂樂與衆樂孰樂** クナニクノレムト

大ゼイト樂メタノレムト **曰不若與衆** コノコタヘヲツリ出シ樂ヲコノムト

イヅレノ方カオモレロキト **曰不若與衆** 甚シキヲアカサニタメナリ

臣請爲王言樂 王ノ心カクノ如クナラバ王ノクメニ樂ヲコ

ノムハナレトナリ **今王鼓樂於此** 鼓樂トハ樂ヲスルコトナリ

鐘鼓之聲管籥之音 鐘ハカ子鼓ハツヅミ管ハ笛ノ如クニノキイサクニ管ハ

擧疾首戚頰而相告曰 君ノ虐政ニクルレニタル民モ

吾王之好鼓樂 一ヒトリ **夫何使我**

至於此極也 極ハ困窮ナリコレホドノ困窮ヲ **父子不相見兄弟妻子**

離散 親子兄弟ハナレハナレハニ **今王田獵於此** 今王ノカリ

百姓聞王 親子兄弟ハナレハナレハニ **車馬之音見羽旄之美**

感額而相告曰 **吾王之好田獵夫何使我至於此極也** 父子不相見

兄弟妻子離散 辨ハ上ニ **此無他不與民同樂也** ノ音樂田獵ヲウ

今王鼓樂於此 ラミナゲクハ別ノコニアラズ王ツ子ニヒトリソノ身ヲタノレニテソノタノレニ

百姓聞王鐘鼓之聲管籥之音擧欣欣然有喜

色而相告曰 欣々ハヨロコビノ **吾王庶幾無疾病與** 民力カ互ニツゲテ云ハ

獵於此 病ナキノユヘ **何以能鼓樂也** サナクバ何ヲ以テカクノ如クヨク鼓樂

曰 **吾王庶幾無疾病與何以能田獵也** 此無他與民同樂也 心ヲオシテ仁政

今王與百姓同樂則王矣 王ノ樂ヲコノムノ心ヲ

王行ヒ民ヲ各ツノ処ヲ得セ オシ及ホレソノタノレニ

今王與百姓同樂則王矣 オシ及ホレソノタノレニ

戰國ノ民ハカキハナリ 財ツキテ人君ヒトリ **齊宣王問曰** 文王之囿方七十里有諸

王囿ヲヒロ 急務ナリト范氏ノ説ナリ

急務ナリト范氏ノ説ナリ 王囿ヲヒロ

メントスル意アリテナリ鳥獸ヲナチ飼フ処ヲ園ト云古ハ四時ノ農事ノ
 ヒニカリヲ武藝ヲナラハスアリ田圃ヲソコチフニシキタメニ空地ヲトリカコヒテ園
 トレソノ中ニテカリヲスルコトナリ天子ニ苑ト云ヒ諸侯ニ園ト云文王七十里ノ
 園ハ天下三分ノニラタモテルノチニ民ソノカリバ園ト名ツクルモノナラト
 對曰於傳有之コノハ世俗ノ説ニアラズ急度曰若是其大乎宣王イツハリ
キモラツブニテ

寡人之園方四十里民猶以為大何也宣王ワガ園ハワツカ四十里四方曰文
 王宣王之園方七十里鄒魯者往焉雉免者往焉與民同之民以為小亦
 寡人之園方四十里民猶以為大何也宣王ワガ園ハワツカ四十里四方曰文

宜乎鄒ハクサ莞ハタキ雉ハキジ免ハウサギナリ文王ノ園ハ七十里ノ大ナルモ鄒
魯ハクサ莞ハタキ雉ハキジ免ハウサギナリ文王ノ園ハ七十里ノ大ナルモ鄒
魯ハクサ莞ハタキ雉ハキジ免ハウサギナリ文王ノ園ハ七十里ノ大ナルモ鄒

臣始至於境問國之大禁然後敢入スベテ國ニ入ル
トキゾノ國ノ

則是方四十里為阱於國中民以為大不
コロスノツニ同シト

亦宜乎阱トハケモノヲオヒレテトル穴ナリ鹿麋鹿ヲ殺スモノハ人ヲ殺
罪ニ同シト云フ制禁アラズヤモスレバケモノヲトリテ死罪ニカ

國有道乎宣王ハ秦楚トアラソヒ滕薛ナドモタタク服セス孟子對
ヨリテ隣國トヨレミヲ通シ交リラムツニレクスル道ヲトヘリ

曰有惟仁者為能以大事小是故湯事葛文王事昆夷湯ハ殷ノ湯
王ナリ葛

惟智者為能以小事大故太王事獫
湯ハ七十里ヲ以テ五十里ノ葛ニ

以大事小者樂天者也コノ章ハ上
ノ細釈ナ

也小ヲ以テ大ニツカフルモノハ勢ヒノカレニアルニシタガヒ樂天者保天下
オノレガハニ安シシテ自ラ守テ理ニタカハズ天ヲオソルモノナリ

レムモノハソノ心物ヲカ子フクニテアニ子クオホハスト 畏天者保其國

云ナレコレ天下ノ民ヲヤススルノ氣象ナリ 詩云畏天之威于時保之

モノハソノ身ノ法度ヲツシミテホシイニ 詩云畏天之威于時保之

ナラサルヨリソノ國人ヲ保スルノ規模ナリ 詩云畏天之威于時保之

國ヲ保ニスルヲ云周頌我將ノ篇ノ詩ヲ引テ 理ニ 王曰大哉言矣

タカフ時ハ則禍ヲカウフルコレ天ノ威ナリト夫ヲ畏ルヲ證ス

國ニ交ルノ道ニソノ國ヲ保シ 天下ヲ保 寡人有疾寡人好勇

ノムノ疾アリテ人ニオカサルレバ忿怒ノ心オコリ 對曰王請無好小勇

大ニ事ツルヲアタハズ小ヲモメグムヲアタハスト 對曰王請無好小勇

コタヘテ王モレ勇ヲ好ミ玉ハ小勇ヲコノムヲナカレコレ血氣ノ

ナス処ナリ義理ノ發見スル処ノ大勇ヲコノミ玉ヘトナリ 夫撫劍疾視

曰彼惡敢當我哉此匹夫之勇敢一人者也 疾視トハミラミツケル

コナリ庶人ハキヌ一匹ヲ二人ニテキルユ夫婦カケムカヒノモノヲ

匹夫ト云劍ハ一人ニ敵スルモノナレバ匹夫ノ勇ト云ナリ 王請大之

一ハ大勇ヲ 詩云王赫斯怒 赫ハイカリノサカニナル克文王方伯

共ノ地ニセメユク文王イカリヲ發メソノ 爰整其旅以遏徂莒

罪ヲタセリト大雅皇矣ノ篇ノ詩ヲ引ク 爰整其旅以遏徂莒

密人ノ共ニオカシユク人衆ヲオサヘトム 以篤周祜以對于天下

家ノサイハヒヲアツクレ 大國ハオツレ 此文王之勇也

小國ハチツキテ天下ノ仰キ望ム心ヲタヘタリト 此文王之勇也

文王一怒而安天下之民 文王ハ大勇ナルユヘタビノイカリヨリテ

書曰天降下民作之君作之師 書終ノ泰誓ノ篇ノ詞ニテ武王紂ヲ

コノ下民ヲククダシ生スルトキハ必ヌ聖賢ノ人ニ命ノコレヲ

君トメ民ヲオサメヌコレガ師トナシテオシヘヲホドコスト 惟曰其助上帝

寵之四方 上帝ハ天帝ナリ 萬民ノ君トナリ 師トナルハ天帝ニナリ

有罪無罪惟我在 天命ヲウケテ民ノ君師トナルトキハ天下ノ諸侯ノ罪アルモノハ

詞ナ

孟子

衡行

一人

衡行

天下ノ人民タバ王ノ勇ヲコノム
齊宣王見孟子於雪宮雪宮トハ宣王ノ宮ニシテ遊覽アリ

孟子曰賢者亦有此樂乎
孟子曰有人不得則非其
カヤウノ処ヲタノシムカト孟子ヲコノ離宮

矣カヤウノタノシハ賢者バカリニアラズ人々ミナタノレミトスル処ナリ君ヒトリ
タノレミテ民ソノタノレミヲ得ザレバソノ君上ヲソレハ心アリトコレ賢者トタノシ

民トタノレミ同スギク云不得而非其上者非也
ソノタノレミヲ得ズノ君上ヲソ

非ナリ為民上而不與民同樂者亦非也
萬民ノ君上トナリテ民ヲ

之樂者民亦樂其樂
君トノ民ノタノレム処ヲタノレミトスル

憂者民亦憂其憂
民ノクルレミヲ我ガクルレミノ如ク

憂以天下然而不王者未之有也
天下ノ人ト成ニスルトキハソノ憂樂一人

僂ニアラズカクノ如ク而南放于琅邪琅邪トハ海邊ニシテ南ノ方ニユキ
琅邪トハ海邊ニシテ南ノ方ニユキ

吾何脩而可以比於先王觀也
先王ノ法ニ志シテアルヲ

天子適諸侯曰巡狩
天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩

天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩
天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩

天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩
天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩

天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩
天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩

天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩
天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩

天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩
天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩

天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩
天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩

天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩
天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩

天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩
天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩

天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩
天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩

天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩
天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩

天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩
天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩

天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩
天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩

天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩
天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩

天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩
天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩

天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩
天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩

天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩
天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩

天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩
天子十二年一度諸侯ノ国ニユクテ巡狩

ンヤ吾が王モレ我レ等ガ疾苦ヲスクフヲタノレニトシ玉ハズ誰カ我レガ不足
 ニクルムヲ知テ何ヲ以テカタスクルヲカウフヲニヤコレノ遊豫スルゴトニ恩惠民
 ニ及フコアリ又ニ諸侯ノ法度トナリテ國々モ亦カクノ如シト今也不然
 ムカレヨリ人君事ナクモコタリアヒテ民ヲヤミムルヲセザレト也
 時ハ人君ノアタヒ師行而糧食師ハ二千五百人ナリコトハ只大勢ノコトニルベシ
 先王ノ如クオゾズ糧食ハタビノクモナリ君イテユクバ大セイノ
 從者ヲツレテ糧食ス從者ヲツレテ糧食ス
 三ナ民家ヨリ出スナリ師ハ二千五百人ナリコトハ只大勢ノコトニルベシ
 飢者弗食勞者弗息苦ソレノニオゾズ夫役ニツカハレテ
 苦勞スルモノ休息スルヲ得苦ソレノニオゾズ夫役ニツカハレテ
 明昭昏讒民乃作明昭昏讒民乃作
 匿メニカケテ上ラウラ三民ニ
 方命虐民飲食若流天子ヨリノ仰ヒ付ハ諸侯ハソノ國ノ民ヲテアヤ
 流連荒亡為諸侯憂ハ亡クタメニ一人ノホコリヲトゲ
 從流而下從流而下
 忘反謂之流水ノナカレニシタカヒ舟ヲノリ下タシ
 從流而上而忘反謂之連從流而上而忘反謂之連
 水ニサカフテ舟ヲヒキノ余セ從流而上而忘反謂之連
 從獸無厭謂之荒從ハツクテアリアトニツクテナルユ
 先王無先王無
 樂酒無厭謂之亡酒モリヲタノレニテアクテナキハ
 先王無先王無
 景公說大戒於國出舍景公說大戒於國出舍
 惟君所行也惟君所行也
 於交於交
 是始興發補不足是始興發補不足
 為我作君臣相說之樂為我作君臣相說之樂
 蓋徵招角招是蓋徵招角招是
 也也
 其詩曰畜君何尤其詩曰畜君何尤
 君者好君也君者好君也
 君ノ心ニサカフニ似タレ臣實ハ君ヲ愛好スルナリトコノ章ハ孟子宣王ノ雪宮ノ
 タノレニヨリテ晏子が景公ヲイサメレコトヲ以テスハメレナリ君ト民トハ尊卑同シ

流連之樂荒亡之行流連ノタノレニ荒亡ノ行ハナシ
 惟君所行也惟君所行也
 於交於交
 是始興發補不足是始興發補不足
 為我作君臣相說之樂為我作君臣相說之樂
 蓋徵招角招是蓋徵招角招是
 也也
 其詩曰畜君何尤其詩曰畜君何尤
 君者好君也君者好君也
 君ノ心ニサカフニ似タレ臣實ハ君ヲ愛好スルナリトコノ章ハ孟子宣王ノ雪宮ノ
 タノレニヨリテ晏子が景公ヲイサメレコトヲ以テスハメレナリ君ト民トハ尊卑同シ

カヲガレバ心ハカハルナレ孟子ノ言ハ深切ナリ 旅月宜王問曰人皆謂我

毀明堂毀諸己乎 明堂ハ周ノ先代ノ天子四岳ノ方ハ巡狩アリシ近國

リコノ堂齊ノ境内ニアリ今ハ巡狩モナケレバ無用 孟子對曰夫明堂者王

者之堂也 孟子ソノコボツトコボツニシキヲ云ハズ明堂ハ 王欲行王政則勿毀

之矣 王モレ王政ヲ行ハントナラバコノ堂ノ 王曰王政可得聞與 王政ノコトハキ

對曰昔者文王之治岐也 岐ハ周ノ舊國ニシテ王業ノオコル処ナリ文王ハ諸侯ニシ

ト耕者九一 耕作スルモノ諸侯ノ都スル処ヨリヘタリ遠キ領分ヲ都鄙ト云テ助法

里ノ地ヲ一井トシ中ニ井字ヲ畫シ九町ニワカツ中ノ一町ヲ公田トシ外八町ヲ私田トシ

家オノク一町ヲウケテ作り八家ノモノハ公田ヲ作リアゲテコレヲ 租稅トスコレ九分ニシ

テ君ノトシ九十分ニシテ仕者世祿 仕フルモノハソノ功德ニシテカフテ 祿ヲアタヘソノ人死

ニズ用ユルニタラズ世々祿ヲアタヘテコレヲ養フハ 關市譏而不征 關ハ往來

ソノ父祖ノ民ニ功德アリシヲ報スル忠厚ノ至リナリ 關市譏而不征 關ハ往來

ナリ市ハ物ヲアキナフイキ 譏ハ察ギヒニスルコト 征ハ稅ウニシヨウノ 關所ハ衣服詞ノ

カカリヲ罪ノ妻 老而無妻曰鰥 鰥トシヨリテ妻ナキ 老而無夫曰寡 寡トシヨリテ夫ナキ

而無子曰獨 身ナリ 幼而無父曰孤 此四者天下之窮民而無告者

コノ鰥寡孤獨ノ四ツノモノハ天下ノ困窮ノ 文王發政施仁必先斯四者 文王

ナスニ人々ノ妻子ヲヒキ井テ老ヲヤシナヒ幼ヲメクニシム 詩云可矣富人哀

此榮獨 小雅正月ノ詩ノ詞ヲ引テ周ノ末ニ亂セラウレヘテ今ノ世ハトメル人ハヨク

王曰善哉言乎 嘆美ノヨイカナ 王如善之則何爲不行 孟子子ノコトハ

王政トシテ思ハハ何ユヘ 王曰寡人有疾寡人好貨 貨ヲツムコトヲコノムユ

王道ノ政ヲ行フ 對曰昔者公劉好貨 貨ヲコノムモ王政ノ妨ナラズ文王ノ

先祖ノ公劉モ王政ヲ行ヒタル 詩云乃積乃倉乃裹餼糧于稟于彙

思哉用光 大雅公劉ノ篇ノ詩ノ詞ナリ 米穀ヲアラハノツミハタルヲ積ト云

餼ハホシイヒ稟ハソコナク 兩端ヲクハルヲ口糧ハツコノフクロナリ 周

孟子 卷一 孟子

元祖后稷ハシテ命ト云國ニ封セラル子孫ノ職ヲウシナフテ我狄ノアイダニ
 カクル公望ニ至テ舊業ヲツトメテ部ニテリソレヨリ岐山ノ北豳ノ地ニ國トリシテ
 コニテ民ヲ安シシアツメテ國家ヲ光大ニセシヲ思フニヨリテ
 先ツクノ子ヲノ糧米ヲツミサメテ出クテテ稷粟藿蕪ニモツム 弓矢斯張干
 戈戚揚爰方啟行千ハタテ戈ハホコナリ戚ハチイサキオノ揚ハ大ナルオノ
 ライテハジメテ路ヲヒラ 故居者有積倉行者有裹糧也後後可
 キテ豳國ニウツラレタリ

以爰方啟行テニヒラキコレヨリ子孟子詩ノ意ヲトイテ公劉ノ都ヲウツス時ニタタリテ
 足ナクメ後ハヒメテ路ヲヒラキ國ヲ立テテ王業ヲ 王如好色貞與百姓同
 オコサレタリコレ貨ヲコム心ヲオヒテ民ニ及ヒシ玉ヘルユナリ

之於王何有テニヒラキ人ニ宣王モレ公劉ノ如ク貨ヲコム心ヲオヒテ民ト同フセラレバ
 天下ニ王タルト云フニナリシカタクカアラレバ貨ヲコムモ疾トスルニ
 タラズ 王曰寡人有疾寡人好色齊王カサ子テ寡人貨ヲコムニミアラズ
 又色ヲコムノ疾アレバ心志トヒテ用度ニ
 行フコトアタフニシト 對曰昔者太王好色愛厥妃太王ハ公劉ヨリ九代ノ
 ヲ云太王ツノ妃ノ太姜ヲ 詩云古公亶父來朝走馬率西水滸至王岐下
 爰及姜女聿來胥宇大雅綿ノ篇ノ詩ノ詞ナリ古公ハ太王ノ本号ニ後ニ
 オヒタツトヒテ太王ト号ス亶父ハソノ名ナリ太王狄人

也内無怨女外無曠夫コレヨリ孟子ノ詞ナリ太王ツノ色ヲコムノ
 コレヨリ孟子ノ詞ナリ太王ツノ色ヲコムノ
 内ニヨリ夫ナクノ内ニウラミヲクム女
 ナク外ニ妻ナクノムナシク 獨リスニ男ナシ 王如好色與百姓同之於王
 何有カクノ如クナレバ色ヲ好ム疾トスルニタラズタミ民ト非ニスルト獨リタク
 シムトニアルノ揚氏ノ説ニ子孟子人君ニ問答スルニ皆ソノ善心ヲオシヒロメテ
 論レ非心ヲタメセルナリ只ソノ詞ニツイテソノ事ヲ論スルバカリナラス人臣タルモノ
 事ヲ論スルニ常ニカクノ如クニ君ニ用ヒラルハソノ君ヲ堯舜トナスコトアタハサラ

シヤト朱注ニ此ノ篇ハシメヨリコニテノ大意ニテ同レ鐘鼓苑囿遊觀ノタノシト
 マ勇ヲコニ化貨ヲコノミ色ヲコノムノ心トハ天理ノアル処ニノ人情ノナキコトアタハサル処ノ
 モノナリ然レバ天理人欲ノ行ハル、跡ハ同フノ行フ処ノ情ハ異ナリ理ニシタカフテ
 天下ニ公カレバ聖人ノソノ性ヲツクス処ニ至ルニヒニワタクシルトキハ衆人ノソノ天ヲホロ
 ボスニ至ルニソノモノ、間ゾノハシメハ髪ヌシホドノチカヒナレソノ是非得失ノオモムキ
 相去ルニ甚タ遠シコノユニ子孟子ソノ幾微ノアイダヲワキホドクニ人欲ヲトメテ天理
 ヲ存セニガタメナリソノ法ウトキニ似テ實ハスキナクソノ事ハマスラカナルニ似タレバ
 實ハカタシ學者身ヲ以テコレニ体セバソノ道ヲシテ世ヲモリ言ヲスモクモノ端ヲ知ラシ

子謂齊宣王曰王之臣有託其妻子於其友而之楚遊者比其反也
 則凍餒其妻子則如之何孟子宣王ヲ向テ王ノ臣下ノウチニソノ事ヤ子ヲ
 友ダキト託シタノミヲキテ亦月國ヨリ楚國ニユ

則凍餒其妻子則如之何孟子宣王ヲ向テ王ノ臣下ノウチニソノ事ヤ子ヲ
 友ダキト託シタノミヲキテ亦月國ヨリ楚國ニユ

キテアツフモノアラシニソノ託シタル友タチノ反ルコロアツカリ
タル妻女子ヲコトヤカシ人食タズヌウヤシ殺シナバイカガシ王曰葉之ヲ

王ノ云クニ交リヲ曰ク士師不能治士則如之何士師ハウツタヘラキ刑ヲツカサト
ステタメント

郷士遂士ヲサス郷ハ二万二千五百家アイダノ邪正ヲタビヌ與カノ一遂ハ千五百家
ノ処ヲタビヌカナリ士師ハノ長ナリ士師コレヲ治ルアタズノ法タヤ

トキハイカト王曰己之メレリクケン曰四境之内不治則如之何ト六
コレヲ云ハシタメナリ一國ノ君トメ政事スタリユルニリ人民困窮ノ四方ノ

境内オサミラザルトキアブガリタニ妻女子ヲウユコヤレタル友士オサムルアタハサル
士師トソノ罪カワルナレ

カクノ如キノ君ヲイカシセト王顧左右而言他トトヒツメラレ罪ワカ身ニ帰
左右ヲフリカヘリミテ外ノハナレニキラカサレタリ

孟子云ク責ルニハカカリ下問ニハツルカクノ如シ

謂故國者非謂有喬木之謂也有世臣之謂也人君先祖ヨリ其土業相
承テ年ヲフル久シキヲ

故國ト云喬木トハタカキ木ノ一木ヲ云コレ云意ハ國ノフルキト云ハ大木アルヲ
云ニアラズ舊功アリテ代々ラテク仕フル臣アルヲ云トコレ宣王ノ臣下ヲスメ

レリツクルトソノ王無親臣矣親臣トハ相シタレシニテ事ヲ
カミレキイサムン

不知其亡也キノフスメアゲテ用ヒラレ王ノ意ニ心腹ト思フモノテ日ハ
ハヤニツサルヲモレリ夫子ハレテ世臣ト云モノハナキハツナリ

王曰吾
何以識其不才而金之ヲハ何ツアゲ用ヒン今ニゲマルハミチ不才ノ人
ナレバ罪ハ不才ノ人ニアリテ我ニアラズ此ノ不才ト曰國君進賢如不
得已以君ノ人ヲ用フル後悔セヨリハ始メニツビラカニ考ヘハカルニ起タル

得已トナレヨニニニ國君ノ賢人ヲエラヒスムルツノ官ニ用ヒサルハニ勢ヒト去
ラ得サル將使卑踰尊踰戚可不慎與ツノ已ムヲ得ザルカ如キノ
ガ如クナルトアリ

タル舊臣ノ子孫ハ高位ニヲキテタツトムベキト勿論ナリ又君ノ一族ノシタレシニテ
高祿ヲアタフル礼ノ常ナリ然レバ舊臣ノ子孫親族ノ中ニ賢オノ人ナケバ
國家ノ治乱ハ用フル処ノ人ノ賢不賢ニヨルナレバ已ムヲ得ズタツトムニシキ卑

賤ノ人シタレシニシキ疎遠ノ人ヲアゲ用テ舊功ノ子孫一族ノ官祿ニコレニメテタツトヒ
シタレシムトナリカクノ如クナレバ左右皆曰賢未可也コレヨリ下ハ人ヲスルメ
人ヲアゲ用テ慎サルケシヤ

ヤムトヲ得ザルガ如クナルノ事実ヲトクム人ノ賢者ヲアゲ用ヒト
スルニ左右ノ近習ノ臣ミナソノ人ヲ賢ナリト云信シカクケレバカクモ
用ユル諸大夫皆曰賢未可也諸大夫ノ云ハ信スベキナレバオノレ

ナカルベシ

ハレズ從國人皆曰賢然後察之見賢焉然後用之賢ナリト云トキハ
賢ナリト云トキハ

ハレズ從國人皆曰賢然後察之見賢焉然後用之賢ナリト云トキハ

賢ナリト云トキハ

賢ナリト云トキハ

賢ナリト云トキハ

賢ナリト云トキハ

賢ナリト云トキハ

賢ナリト云トキハ

賢ナリト云トキハ

賢ナリト云トキハ

賢ナリト云トキハ

賢ナリト云トキハ

サダメテ然後ニ用ユヨリテ是ヲ左右皆曰不可勿聽諸大夫皆曰不可

勿聽國人皆曰不可然後察之見不可焉然後去之スルニ左右ノ近臣諸

大夫國人ミナ不可ナリ用ユニモキモノト云テ然後ニトクト檢察ノ用イラレヌ

ナリ左右皆曰可殺勿聽諸大夫皆曰可殺勿聽國人皆曰可殺然後

後察之見可殺焉然後殺之スルニモ上ノ如クスベシトコニ殺スバカ

リヲ云ヘモ人ヲタスケイカス故曰國人殺之也上ノ如クナレバ君ヒトリ

國人ノ公論ニテ君ノ殺スニアラズト人ヲ賞罰如此然レモ上ノ如クナレバ君ヒトリ

母民ノ好ム処ハコレヲコノミ民ノニクム処ハコレヲニクムト大学ニ三ヘタル如ク人

齊宣王問曰湯放桀武王伐紂有諸放トハ一所ニテテ外ヘ出サヌヲ云

南巢ニテキ周ノ武王ハ殷ノ紂宣王ワレキク殷ノ湯王ハ夏ノ桀王ヲ

曰臣弑其君可乎桀紂ハ天子ニテ湯武ハ諸侯ナリシカルヲ

之賊臣トノ君ヲ弑スルノ道ナシ天ヨリ君ヲ立テ民ノ心ニ君ヲイタクハ君ヨク

天理ヲタチホロホスコレ人道ノ本賊義者謂之殘事ヲトリノ行ナク

ヤフリクコナク人ヲヤブルガ如ク殘ト云殘賊之人謂之一夫書經

受トアルハ紂ガニテコニ一夫ト云ニ同レ人君ハ天下ノタメニ義ヲタモチ

守レテ以テ道トスモレコレヲ殘賊スルトキハ君タルノ道ヲウレナフカクノ如ク

ナルハ衆人ソムキ親戚ハナレテ君トセラレズ聞誅一夫紂矣未聞弑君也

衆人ソムキ親戚ハナルハ一夫ニ君ニアラス誅スト云トキハ弑スルニアラスワレ

夫ノ紂ヲ誅スルト云フハキタレ君ヲ弑スト云フハキカズトコニ紂ガカリヲ云テ桀

ヲソノ中ニコメタリコレツカク齊宣王ヲサトシテ戒メテ後世ニタルナリ王勉ガ説ニ

上ニルモノ桀紂ガ如キ暴アリテ下ニアルモノ湯武ノ如キ仁アルトキハ此ノコト可ナリ

然ラザレハ位ヲムハヒ君ヲ孟子孟子見齊宣王曰爲巨室則必使工師求大

木宣王ノ賢人ヲアゲ用ヒ國ヲ治ルヲハカラサルニヨリ此ノコトヲ以テ諷ス

賢人ニタトフ國ヲ治ルニハ工師得大木則王喜以爲能勝其任也任トハニナヒ

王師大木ノヨロシキヲ得ルトキハ此ノ大木コソ匠人斲而小之則王怒以爲不

大室ノオモキヲ任レテヒモツニ相應ズトヨロコヒ思フ

匠人斲而小之則王怒以爲不

勝其任矣匠人ハ工師ノ手シタノ大工ナリ時ニ匠人コノ大木ヲ夫人幼而學

之壯而欲行之ナリ壯年ニ此ノ道ヲ世ニ行ハント思フ王曰姑舍女所

學而從我則何如王ノ道ヲ行ハントスルヲ汝カミテハ仁義ニシテ

何如トハイフカル詞今有璞玉於此璞玉トハミダニガキタテヌ玉ノアラタニ

雖萬鎰必使玉人彫琢之萬鎰ハ二十萬兩ナリ玉ノアラタヒヲ云コレ國ヲ

至於治國家則曰姑

舍女所學而從我則何以異於教玉人彫琢玉哉國家ヲオサムルハ

タル賢者デナケレハナラズシカルヲ私欲ニシタカヒテコレヲ能ク合点シタル賢

人ニ任セズ汝ガニテグ処ノ大道ヲサシライテ我カコノ小道ニシタカト云ハ玉人ニ命

ト玉ヲエリミガハスル齊人伐燕勝之燕ハ姬姓召公奭ノ後ナリ戰國ノトキ

取或謂寡人取之宜王ノ心ニ燕ヲトラント思ヘ賢者ニハチテコレヲ天意ニカ

以萬乘之國伐萬乘之國五旬而舉

之諸侯ハ天子ノノレレ戰國ノ時分ハ五ニ天子ニナラント心カクルニヨリテ乘ノ

不取必有天殃天ノアタフル処ヲトラ取之何如今コレコレトラント

孟子對曰取之而燕民悅則取之古之人有行之者武王是也

取之而燕民不悅則勿取古之人有行之者文

王是也天下三分ノニヲタモチテ天下ヲトラスコニハソノトラルベキトルト取ラ

之悦フニシキヲオノレテトラス武王殷民ノ悦フヲ天ノアタヘトトリタリト云ニハ

之武王ノ時カラサルハ百諸侯ノ會セシ天命ノ人應シ時至ルナリヤトヲ得シヤト以萬乘

之國伐萬乘之國簞食壺漿以迎王師豈有他哉避水火也

簞ハ竹

子思子

子思子

子思子

子思子

ニタルウツクモノ、名食ハ去声音嗣メシナリ、壺ハタル幾ハノモノ又ノ説
 二酒ヲ云師ハ軍士ナリノ水火トハナキスル云意ハ大国ヲ以テ大国ヲウツクハ對
 揚ノナレバ心ヤスクハカタルニシキニ何シノムツカシキトモナクウチカツト云ハ
 民ガ悦ニテイヒゲサカタルヲモチテ王ノ師ヲムカフユナリ豈他ノユニアラシヤ民
 ノク氷火ノチンギヲスクハレテクルレシヲサケシタメ
 運而巳矣モレ燕ノ急難ヲスクハズノ却テ暴虐ヲセバカノ民メダリカヘリテ救
 ヲ他ニシテシトナリコレハ齊ノ兵士ノ燕ニ入テ監妨セシヲハカリニテ
 云ナルレト趙氏ノ説ニ征伐ノ道ハ二サニニ齊人伐燕取之孟子ノコトハ用ヒズメツイ
 民ノ心ニシタカシレ民ヨコトキハ天意得ル也齊人伐燕取之孟子ノコトハ用ヒズメツイ
 王嘗ヲ殺レ暴虐ヲ諸侯守其救燕ヲスクフテ齊宣王曰諸侯多謀伐
 寡人者何以待之齊人ガ燕ヲトルヲニクニテ列國ノ諸侯イヒ合セテ子孟子
 對曰臣聞七十里爲政於天下者湯是也成湯ハ方七十里ノ小國ヨリヨク仁政
 ヲ行ヒヒロメテツイニ天下ニ王タリト云
 未聞以千里畏久者也イニタ千里ノ大國ヲタモチナカラ人ノ敵センヲ
 キタリト未聞以千里畏久者也オソル、モノヲキカストコレ亦月王ニアテ、云ヘリナリ
 書曰湯一征自葛始尚書ノ仲虺之誥ニ葛伯ガ無道ナルヲ天下信之天下
 民ガ湯ノ征伐ハ私欲ノタメニアラズ民ヲスク東面而征西夷怨南面而

征北狄怨東ノ方ニムカヒテ征伐スレバ西ノ方ノ民用ナシ此
 ノ方カラサキニ征伐シテ王ハザルトウラニ南國ヲ征伐ス爲後我
 我ハ北方ノエヒスナシ民望之孟子コノ書ノコトニ
 ツイテ考フルニ民ノ若大旱之望雲霓也孟子コノ書ノコトニ
 ツイテ考フルニ民ノ歸市者不止孟子コノ書ノコトニ
 ツイテ考フルニ民ノ耕者不變孟子コノ書ノコトニ
 ツイテ考フルニ民ノ誅其君而弔其民若時雨
 降民大悅孟子コノ書ノコトニ
 ツイテ考フルニ民ノ書曰後我后
 後來其蘇孟子コノ書ノコトニ
 ツイテ考フルニ民ノ王往而征之孟子コノ書ノコトニ
 ツイテ考フルニ民ノ民以爲將
 詞今燕虐其民今燕ノ國ニダレテ孟子コノ書ノコトニ
 ツイテ考フルニ民ノ王往而征之孟子コノ書ノコトニ
 ツイテ考フルニ民ノ民以爲將
 拯己於水火之中也孟子コノ書ノコトニ
 ツイテ考フルニ民ノ簞食壺漿以迎王師孟子コノ書ノコトニ
 ツイテ考フルニ民ノ若殺其父兄孟子コノ書ノコトニ
 ツイテ考フルニ民ノ係累其子弟孟子コノ書ノコトニ
 ツイテ考フルニ民ノ毀其宗廟孟子コノ書ノコトニ
 ツイテ考フルニ民ノ遷其重器孟子コノ書ノコトニ
 ツイテ考フルニ民ノ如之何其可也孟子コノ書ノコトニ
 ツイテ考フルニ民ノ天下固畏齊之彊也孟子コノ書ノコトニ
 ツイテ考フルニ民ノ今又倍地而不行孟子コノ書ノコトニ
 ツイテ考フルニ民ノ仁政是動天下之

兵也 天下ノ諸侯モトヨリ齊ノツヨキヲオソルニ今又燕國ヲトリテソノ地ヲ一

倍スルニヨリイヨクオソレヲナスニカニ仁政ヲ行ハズノ却テ民ヲクルムヨリテ

天下ノ諸侯齊ヲウタニトハカルコレ 王速出令反其旄倪止其重器 旄倪ハ

齊ヨリイドミテ天下ノ兵ヲウカスナリ 老シナ

去之 燕國ノ臣民トサウダシノ燕王ノ親族ノ中 則猶可及止也 カクノ如クニ

シモ諸侯ノ兵ノ登セザルサキニトムルニ及フヘシオソクハ兵乱オコラント云ラフク

メリ孟子齊梁ノ君ニタクニ道德ヲ論スルニハ堯舜ヲ稱シ征伐ニハ湯武ヲ稱ス

コレ民ヲオサメテ堯舜ヲ手本トセザレバ暴ヲナスナリ師ヲスルニ湯武ヲ手本ト

セザルハ乱ヲナスナリ我が君ハ聖人ノスル如ハナラスト云テナラヒキタル大道ヲステラキ

テ君ノ私欲ニシタカハシヤ 鄒與魯 鄒ト魯ト合戦メ魯ノタメニヤ 穆公問

曰 穆公ハ 五有司死者三十三人而民莫之死也 有司ハ物カレラナリ民トハ兵

ニ民ト云ヘリ魯トタカフテ鄒軍ノ物カレラタルモノ 誅之則不可勝誅 コノ死セ

三十三人ニテウチ死シタルニ組下ノ兵士入モ死スルモノナリ 誅之則不可勝誅 コノ死セ

ナレバ誅シツクサレズ 不誅則疾視其長上之死而不救 長上ハ有司ナリ此

誅セズメステラクナラバソノ物カレラノニサレクウチ死スルヲヨイキニト 如之何則可也

子孟子對曰 子孟子 凶年飢歲君之民老弱轉乎溝壑壯者散而

之四方者幾千人矣 大水ヒテリ兵乱疫病ナドノハヤル凶年ノトキ米穀

ホリニコロジヲチテ死シ壯者ノ而君之倉廩實府庫充 君ノ倉ノ穀

ヲカイモノハ四方ヘニゲユクモノ多シ 有司莫以告 コノ時ノ有司ノ事ヲツカ

オサムル庫ノクラクハ三々ニテアリ 是上慢而殘下也 コレ上ニアル君長オコリオコクノ曾子

テクララフヒラキテ 是上慢而殘下也 コレ上ニアル君長オコリオコクノ曾子

曰 曾子 戒之戒之出乎爾者反乎爾者也 曾子善惡ノムクヒタガハザル

戒ノヨナニ平ガ身ヨリ出テ人ニ及フ 夫民今而後得反之 カクノ如ク

ハ亦ナシ平ガ身ニカヘリカハルモノナリ 君無尤焉 君コノ救ハサル

ニアル民能ナレバウチ死ヲスクハズ見殺シ 君無尤焉 君コノ救ハサル

ニノ今テニイタリテウラミヲ報レカヘスヲ得タリ 君無尤焉 君コノ救ハサル

君行ニ政斯民親其上死其長矣 君ノ不仁ニテ財ヲツムコトヲ好ムニヨ

民ヲクルシムルユヘ長上ノ討死ヲスクフコトナレ君モ仁政ヲ行ハ有司モ民ヲア

シムコトヲカキニヨリ 難ニ及テ有司ノタメニ死ヲイタレテ救フコトヲセント范氏ノ説

二書ノ五子之歌ニ民ハコレ知ノ本本固ケレバ邦寧シト云ヘリ倉廩府庫ハ民

ノタメニスルニ豊年ハスナハチ是ヲオサメ凶年ハスナハチ是ヲヒライテソノ飢寒ヲ

メクニソノ疾苦ヲスクラフコ、ヲ以テ民ノノ長上ヲシタシニ愛メテヤウクナシギ
 ナルハオモイテ救フ子弟ノ父兄ヲモリ手足ノ頭目ヲモルガ如シ穆公フ
 ノオノレニ反ルアタバズノ罪ヲ 滕文公問曰 文公ハ滕ノ君姓ハ姫ナリ
 民ニ歸セシト欲スルハアヤニラスヤト 文王ノ後ニシテ魯ハ侯ナリ
 滕ハ小國也 間於齊楚事齊乎事楚乎 滕ハ小國ニテ齊楚ノア
 二國ハ大國ナレバ敵シガタシ

イツレノ方ニツカヘテ宜シカシ 孟子對曰 是謀非吾所能及也 人ニヨ
 ンズルハタノミニナラズ今ニ齊月ニツカヘ 無已則有一焉 必ズワレニモハセント
 楚ニツカフルノ謀ハ我ガ智慮ノ及フ処ナズ

ナリ此ノ池ヲホリテ深クシ此ノ城ヲキツイテ高クシ民ト居コレヲ守リ國ノ
 タメニ死シイタクノ心ヲ變ゼザルハナスベシトサレバコレハ深ク民心ヲ得ルニアラズ
 アタハガル如ナリ此ノ章ノ意ハ國ヲタモツモノノ義ヲ守テ民ヲ愛スヘシ幸ヲ
 モトメテ免ルベカラズトナリ孟子ノ答ハ凡レ人君國ヲ守テ社稷ト存亡ヲ同フス
 ノ正道 滕文公問曰 齊人將築薛吾甚恐如之何則可 滕ト薛トハ齊ノ

リテ甚タ遠シ齊ステニ薛トトリテソノ地ニ城ヲ
 キツカトス然レバ我ガ國ヲモハセラシニカト氣ツカヒテ問 孟子對曰 昔者大王居邠
 狄人侵之 邠カレ大王ノ邠ニシテタル時ニ北狄 去之岐山之下居焉 岐山ノ
 ハチ周原ナリ邠ノ如ニ 非擇而取之不得已也 岐山ノ地ハ後々ノ穀目ス
 都邑ヲ建立シ居玉リ

ルニハアラス狄人ノ難ヲサケニ 苟爲善後世子孫必有王者矣 孟子ノ徳
 タメニヤムヲ得ヌメウツリタル 行ヒ善ラスルハ太王ノ如クナレバタトヒ一旦難ニアフコトアリ且後世子孫ニ
 カナズ大武ノ如キ王者ノ出ルコトアラント然レバ文公ニ國ヲウツセト云ニハアラズ 君子

創業垂統爲可繼也 若夫成功則天也 君子タルモノハ善ヲスルノ非難ヲハ
 子孫ニツカシムルナリソノ功ノナルトナラサルハ 君如彼何哉 彊爲善而已
 天命ニアルコトテカクノ如ク必スカタエフテ期スヘシヤ

矣 彼ノ齊ノイキホヒモトヨリ 敵スベカラズ君ノ力ヲ以テイカメコレヲ制スルコ
 ナルヘキヤタシ善ヲスルコトヲツトメテ後世ニツカシメ天命ノ至ルヲニツヨリ外ハナ
 キノニ 滕文公問曰 滕小國也 竭力以事大國則不得免焉 如之何則
 可 滕ハ小國ナルコトヘチカラハハイニ大國ノ齊月ニツカフレハ或ハ 孟子對曰 昔者

焉事之以珠玉不得免焉 孟子太王ノ狄人ニツカヘテ我が國ノ財ヲムサホルナ
 然ラバ珠玉ヲムサホルナラントコレヲオクレバ免ルコトヲ得ス 乃屬其耆老而告

乃屬其耆老而告 然ラバ珠玉ヲムサホルナラントコレヲオクレバ免ルコトヲ得ス 乃屬其耆老而告

然ラバ珠玉ヲムサホルナラントコレヲオクレバ免ルコトヲ得ス 乃屬其耆老而告

然ラバ珠玉ヲムサホルナラントコレヲオクレバ免ルコトヲ得ス 乃屬其耆老而告

然ラバ珠玉ヲムサホルナラントコレヲオクレバ免ルコトヲ得ス 乃屬其耆老而告

之曰 老人ヲアツメテ 国ヲ去ルノヲツケテ 狄人之所欲者 吾土地也 狄人ノ

思フ処ノモノ ハ吾ガ土地ナリ 吾聞之也 ワレキ、タル 君子不以其所以養人者害人 ホシク

土地ハ五穀ヲ生メ人ヲ養フモノナリ 君子ハ 二三子何患乎無君我將

去之 二三子トハ老目老ヲサシ人數ヲサタメスノ云フノ地ヲ 去 邠 踰梁山 去テ狄人ニツラヒトス狄人ワレニカハラバ君ナキニアラス

邑于岐山之下居焉 邠ノ地ヲ去リ梁山ト云フ山ヲスキ 邠人曰 仁人也 コトテ岐山ノモトニ邑ヲツクリテ居テ

不可失也 邠人ニナク平日民ヲアハレニヤレナフテソノ恩徳ノフカキヲミルニ

從之者如歸市 アキ人ノ市ニオモムカカ如ク 或曰世守也 アルイハヌア

非身之所能為也 子孫ノ身ノヨクホシイ 君請擇於斯二者 ミニスル処ノモノニアラス

效死勿去 イタメ去ルコトナカレト 社稷ニ死スル常法ナリ 社稷ニ死スル常法ナリ

君請擇於斯二者 君請擇於斯二者

如ク城ヲ枕ニテ死ヲイタスベシト蓋シ 國ヲ去テ存センコトヲハカルハ一時ノ權ニシ

正シキヲ守テ死シニツハ萬世ノ經ナリ 我カ才徳ヲツヒラカニシ 國勢ヲハカリニ

モノヲエラヒテ是ヲ處置センコト可ナリト孟子コノニ謀ラ文公ノクダメニ告ルニアラス

文公ノ及ハサル処ナルユ此ノニツノモノヲナラベ告テ死ヲ守ル志ヲカタメシタメナリ

請フコノニツノ者ヲエラトハ晏子ガ惟君ノ行ハシムルニナリト云ニ同シ 楊氏ノ説ニ

孟子ノ論スル処ヲ世俗ヨリニレバ謀ナキニ似タリサレバ道理ノスベキ処カクノ如クナルニ

求メ功ノ必ス成ニテ求メテ智謀ノ未ダタニ 天理ノ正ニ從サルハ聖賢ノ道ニアラス 魯平公

將出 孟子ノ弟子樂正子ガ魯日ノ君平公ニツカヘテツツナク 子孟子ノ大賢ナ

出テ孟子ノ旅館ニ 嬖人臧倉者請曰 嬖人ハオキニイリナリ 他日君出

則必命有司所之 他日イツレノトキニモ君ノ外へ出 今乘輿已加焉矣 臧倉ハツノ姓名ナリ

乘輿ハ君ノ車ナリ加焉 有司未知所之敢請 平公ハ人ノトトメニツラハカリテ

有司未知所之敢請 平公ハ人ノトトメニツラハカリテ 臧倉ハ孟子ニ

所爲輕身以先於匹夫者以爲賢乎 平公コタヘテ孟子ニアハンタメナリト臧

禮義由賢者出而孟子之 禮義由賢者出而孟子之

後喪踰前喪君無見焉 孟子ハ幼少シ時ニ父ニオクレタルユ喪ノコトハシラサ

孟子ノ事

三十一

身ヨリ行ヒ出スヲナルニ孟子ハ母ノ喪礼ヲ甚アツクノハ公曰諾諾ハナル樂正ガクセイ

父ノ喪礼ニスギユタリ然レハ賢者ニテ君コレニアクナカレトホト云詞樂正

子入見曰君トスレ爲不見孟子軻也樂正子入テ平公ノ御メニカリ曰或告寡人

曰孟子之後喪踰前喪是以不往見也孟子ハ母ノ喪ニアツキテ父ノ喪ニスギコエ

タリト告クコレ礼義ニタカ何哉君所謂踰者前以士後以大夫前以三鼎後

以五鼎與樂正子カサ子テ君ノノ玉フコエタリトハサキニハ父ノ喪礼ニハ士ノ礼ヲ以テ

後ニ五鼎ヲ以テ祭リタルヲアツトスルカト此ノ四向ハ兩端ヅカサ子タルモノナリ

祭礼ニ用ユル鼎ノカスハ豚魚腊ノニツ大夫ハ羊豕鮓腊膏ノ五ツナリ云志志ハトナリ大夫

トナリテハオノノ家ノ曰否三鼎五鼎ハ礼ノ定制謂棺槨衣衾之美也棺ハ

オサム樽ハ棺ノ外ヲメクラス衣ハ尸ヲオサフコロモ曰非所謂踰也貧富

人表ハ尸ヲツムフスニ此レヲノ甚タケツユナルヲ云ト

不同也コレヲノハ踰タルニハアラズ士ノ祿ノスクナキトキハ是ヲスルヲアタハズ

厚薄ハツノ貧富田ノ樂正子見子孟子曰克告於君君爲來見也克ハ樂

名ナリ子孟子ニテヒタヘト平ハムニ壁人有臧倉者沮君君是以不果來

也果ストハカタツケズラチアケヌ來ル曰行或使之止或尼之行止

非人所能也賢者ノ出キテ道ノ行ハルモコレヲユカシムルモアリ止リイテ

ニアリテ人カノ吾之不遇魯侯天也臧氏之子焉能使予不遇哉

ヨクスル処ニハアラスト吾之不遇魯侯天也臧氏之子焉能使予不遇哉

ワガ魯侯僕ニアハズ志ノ相カナハザルハ天ナリ聖賢ノ世ニ出ルトカクルトハ時世氣運

ノ盛衰ニアツカルヲナレハ實ニ天命ノナス処ニテ人カノ及フニアラス臧氏カ子ナトヨクスル

処ナラシヤト臧氏カ子トハ驕人ノ子ト

云ト同レテイヤレメテ云詞ナリ

四書國字辨孟子卷之一終

